

かわごえ子育てプラン（川越市次世代育成支援対策行動計画）

平成17年度・平成18年度の進捗状況

平成19年8月

川越市福祉部子育て支援課

《目次》

1 . かわごえ子育てプラン体系図.....	1
2 . 進捗状況総括表.....	2 ~ 4
3 . 目標事業量設定事業の進捗状況.....	5
4 . 事業別進捗状況	
(1) 基本目標 1	6 ~ 1 2
(2) 基本目標 2	1 3 ~ 1 8
(3) 基本目標 3	1 9
(4) 基本目標 4	2 0 ~ 2 2
(5) 基本目標 5	2 3 ~ 3 1
(6) 基本目標 6	3 2 ~ 3 6
(7) 基本目標 7	3 7 ~ 4 1

1. かわごえ子育てプラン体系図



2. 進捗状況総括表

〔進捗状況〕 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

項目	事業数 (実事業数)	平成17年度 予算額 〔決算額〕	平成18年度 予算額 〔決算額〕	平成18年度末の進捗状況					評価・特記事項(施策目標別)
				A	B	C	D	E	
基本目標1 子どもと親の豊かな健康づくりの推進 多様化、複雑化する健康に関する諸問題を解決するため、健診・相談・指導体制の充実に努めます。	52 (52)	888,421 〔803,790〕	906,349 〔841,746〕	46 (46)	4 (4)	-	1 (1)	1 (1)	施策目標(1)「子どもと親の健康の確保・増進」については、重点施策の「乳幼児健診」「母親学級・両親学級」「育児関連講座等への協力」「未熟児・長期療養児訪問指導」「乳幼児医療費の助成(平成18年度よりこども医療費の助成)」など概ね計画どおりに進捗できたが、「保健推進員による妊婦訪問」がB評価、「のびのび子育て広場」がE評価となっている。 施策目標(2)「食育の推進」については、「幼稚園・保育所等における指導」など概ね計画どおりに進捗できたが、重点施策の「地域活動栄養士との協働」がB評価となっている。 施策目標(3)「思春期保健対策の充実」については、「薬物乱用防止啓発」「飲酒・喫煙防止対策」など概ね計画どおりに進捗できたが、「思春期保健相談」「中学生の健康教育」がB評価、「子育て体験学習」がD評価となっている。
【掲載事業の内訳】	新規事業 2 (2)	306 〔306〕	561 〔487〕	-	1 (1)	-	1 (1)	-	
拡充事業 21 (21)	680,626 〔619,166〕	685,571 〔640,130〕	19 (19)	2 (2)	-	-	-	-	施策目標(4)「小児医療の充実」については、「休日急患・小児夜間診療事業」など概ね計画どおりに進捗できた。
継続事業 29 (29)	207,489 〔184,318〕	220,217 〔201,129〕	27 (27)	1 (1)	-	-	-	1 (1)	
基本目標2 心身の健やかな成長に資する教育環境づくりの推進 確かな学力、豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力を育むため、市立学校の教育活動・教育環境等の整備・充実に努めます。	52 (49)	1,649,471 〔982,918〕	2,334,851 〔1,817,804〕	37 (35)	10 (10)	3 (3)	2 (1)	-	施策目標(1)「次代の親の育成」については、「中学生社会体験事業」など概ね計画どおりに進捗できたが、「子育て体験学習(1-(3)-3の再掲)」がD評価となっている。 施策目標(2)「子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備」については、重点施策の「川越市教職員研修事業」「指導方法の工夫改善、少人数学級」など概ね計画どおりに進捗できたが、重点施策の「川越市子ども読書活動推進計画の策定・推進」及び「情報教育」「幼児教育振興プログラムの策定」「小江戸中学生読書手帳事業」「育児関連講座」がB評価、「公立学校施設の整備」「学校図書館図書等の整備」がC評価、「総合的な学習の時間の支援(教育研究所)」「ミュージアムシアター」がD評価となっている。
【掲載事業の内訳】	新規事業 7 (6)	1,595 〔1,444〕	1,595 〔1,545〕	1 (1)	4 (4)	1 (1)	1 (0)	-	施策目標(3)「家庭や地域の教育力の向上」については、重点施策の「家庭教育講座」など概ね計画どおりに進捗できたが、重点施策の「総合型地域スポーツクラブ」及び「学習相談」「学生ボランティアの活用」「出前講座」「子どもエコクラブ」がB評価、「人材バンク」がC評価となっている。
拡充事業 5 (5)	54,213 〔49,883〕	66,551 〔64,041〕	3 (3)	1 (1)	1 (1)	-	-	-	
継続事業 40 (38)	1,593,663 〔931,591〕	2,266,705 〔1,752,218〕	32 (30)	5 (5)	1 (1)	2 (2)	-	-	
基本目標3 子育ての喜びを実感し、子どもとともに成長できる機会の充実 子育てをより楽しく充実したものにするため、子育てについて話し合い、学ぶ場や社会参画の機会の充実に努めます。	6 (2)	2,851 〔2,820〕	1,641 〔1,314〕	4 (1)	2 (1)	-	-	-	施策目標(1)「親の学びの機会の充実」については、「母親学級・両親学級(1-(1)-15の再掲)」など概ね計画どおりに進捗できたが、「育児関連講座」がB評価となっている。 施策目標(2)「親の社会参画の機会の充実」については、重点施策の「イベント等への参加促進」など概ね計画どおりに進捗できたが、重点施策の「つどいの広場」がB評価となっている。
【掲載事業の内訳】	新規事業 2 (2)	2,851 〔2,820〕	1,641 〔1,314〕	1 (1)	1 (1)	-	-	-	
拡充事業 2 (0)	0 〔0〕	0 〔0〕	2 (0)	-	-	-	-	-	
継続事業 2 (0)	0 〔0〕	0 〔0〕	1 (0)	1 (0)	-	-	-	-	

項目	事業数 (実事業数)	平成17年度 予算額 〔決算額〕	平成18年度 予算額 〔決算額〕	平成18年度末の進捗状況					評価・特記事項(施策目標別)
				A	B	C	D	E	
基本目標4 仕事と子育ての両立を支援する施策の充実 仕事と子育てを両立しやすい社会の実現のため、事業主等に対する啓発や、地域における子育ての相互援助活動の推進に努めます。	20 (9)	2,901 〔2,321〕	4,329 〔4,128〕	13 (7)	3 (0)	2 (1)	2 (1)	-	施策目標(1)「多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し」については、重点施策の「育児休業取得等の推進・啓発」など概ね計画どおりに進捗できたが、重点施策の「一般事業主との連絡協議会」がC評価、「労働基本調査」がD評価、「求職相談」がE評価となっている。 施策目標(2)「仕事と子育ての両立の推進」については、「ファミリー・サポート・センター事業(5-(1)-8に掲載)」など概ね計画どおりに進捗できたが、「つどいの広場(3-(2)-1)の再掲」「家庭保育室委託事業(5-(2)-8に掲載)」「認可外保育施設への助成制度(5-(2)-9)に掲載)」がB評価、「病後児保育事業(施設型)(5-(1)-2に掲載)」がC評価、「認可外保育施設等の認可化支援(5-(2)-10に掲載)」がD評価となっている。
【掲載事業の内訳】									
新規事業	4 (1)	0 〔0〕	0 〔0〕	1 (0)	1 (0)	2 (1)	-	-	
拡充事業	9 (1)	0 〔0〕	0 〔0〕	6 (1)	2 (0)	-	1 (0)	-	
継続事業	7 (7)	2,901 〔2,321〕	4,329 〔4,128〕	6 (6)	-	-	1 (1)	-	
基本目標5 子育てを地域で支える仕組づくりの推進 子育てしやすい環境を整備するため、市民の多様な保育ニーズに応えるとともに、保育所待機児童の解消に努めます。 また、家庭で子育てをしている母親の支援の充実に努めます。	68 (56)	1,129,823 〔1,086,349〕	1,164,419 〔739,740〕	46 (39)	15 (10)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	施策目標(1)「地域における子育て支援サービスの充実」については、重点施策の「学童保育事業」「一時保育事業」「特定保育事業」「ファミリー・サポート・センター事業」など概ね計画どおりに進捗できたが、「地域子育て支援センター事業」「保育所による地域子育て支援事業」「つどいの広場(3-(2)-1の再掲)」がB評価、重点施策の「病後児保育事業(施設型)」がC評価となっている。 施策目標(2)「保育サービスの充実」については、重点施策の「通常保育事業」「延長保育事業」「統合保育事業」「法人立保育所への支援」など概ね計画どおりに進捗できたが、重点施策の「産休明け保育事業」「認可外保育施設への助成制度」「保育サービス評価の仕組の導入検討」「認証保育所制度の検討」及び「家庭保育室委託事業」がB評価、重点施策の「公立保育所の運営方法の検討」「土曜保育事業」がC評価、「認可外保育施設等の認可化支援」がD評価となっている。 施策目標(3)「子どもの健全育成の取組」については、重点施策の「地域子どもサポート推進事業」など概ね計画どおりに進捗できたが、「民生委員・児童委員研修会」「子育て体験学習(1-(3)-3)の再掲)」がB評価、「子どもに関する条例(教育指導課、青少年課、人権推進課、子育て支援課)」がC評価、「不登校児童生徒支援スタッフ事業」がE評価となっている。 施策目標(4)「体験活動・交流の促進」については、「各種体験・交流事業」など概ね計画どおりに進捗できたが、「子育て体験学習(1-(3)-3の再掲)」「つどいの広場(3-(2)-1の再掲)」「地域子育て支援センター事業(5-(1)-5の再掲)」「保育所による地域子育て支援事業(5-(1)-6の再掲)」がB評価となっている。 施策目標(5)「地域における子育て支援のネットワークづくり」については、「子育てサークルへの出前講座」「子育てサークルへの施設提供」など概ね計画どおりに進捗できたが、「つどいの広場(3-(2)-1の再掲)」等がB評価、重点施策の「子育てネットワーク事業」がD評価となっている。
【掲載事業の内訳】									
新規事業	13 (10)	0 〔0〕	620 〔459〕	2 (2)	6 (3)	4 (4)	1 (1)	-	施策目標(6)「子育て情報提供の充実」については、重点施策の「育児サークル支援」など概ね計画どおりに進捗できたが、「育児情報発信活動(保育課)」がB評価となっている。
拡充事業	24 (22)	637,792 〔600,453〕	664,910 〔246,067〕	16 (16)	7 (5)	-	1 (1)	-	
継続事業	31 (24)	492,031 〔485,896〕	498,889 〔493,214〕	28 (21)	2 (2)	-	-	1 (1)	

項目	事業数 (実事業数)	平成17年度 予算額 〔決算額〕	平成18年度 予算額 〔決算額〕	平成18年度末の進捗状況					評価・特記事項(施策目標別)
				A	B	C	D	E	
基本目標6 要支援児童へのきめ細かな取組の推進 すべての子どもが健やかに成長することができるよう、児童虐待の防止や障害を持つ児童とその家庭等への支援策の充実を図ります。	33 (25)	1,214,509 〔1,152,570〕	1,257,729 〔1,187,596〕	30 (22)	1 (1)	1 (1)	-	1 (1)	施策目標(1)「児童虐待防止対策の充実」については、重点施策の「育児家庭支援事業」(総合保健センター)「児童虐待防止ネットワーク会議(平成18年度より要保護児童対策地域協議会)」など概ね計画どおりに進捗できたが、重点施策の「育児家庭支援事業」(子育て支援課)がC評価となっている。 施策目標(2)「ひとり親家庭等の自立支援の推進」については、「母子家庭相談」「ひとり親家庭等医療費の助成」など概ね計画どおりに進捗できた。
【掲載事業の内訳】 新規事業	1 (1)	0 〔0〕	0 〔0〕	1 (1)	-	-	-	-	施策目標(3)「障害児施設の充実」については、重点施策の「肢体不自由児認可通園施設」及び「障害児への補装具等の交付」「特別支援教育」など概ね計画どおりに進捗できたが、「障害者総合相談会」がB評価、「障害児者地域療育等支援事業」がE評価となっている。
拡充事業	6 (2)	799 〔1,069〕	1,546 〔1,410〕	5 (1)	-	1 (1)	-	-	
継続事業	26 (22)	1,213,710 〔1,151,501〕	1,256,183 〔1,186,186〕	24 (20)	1 (1)	-	-	1 (1)	
基本目標7 子ども等にやさしく、安全・安心なまちづくりの推進 親子が安心して外出できるよう、公共施設等のバリアフリー化及び防犯対策の推進に努めます。	43 (40)	675,320 〔603,505〕	795,897 〔759,435〕	38 (35)	2 (2)	1 (1)	2 (2)	-	施策目標(1)「良質な住宅・良好な居住環境の確保」については、「公営住宅における優先入居」など概ね計画どおりに進捗できたが、「特定優良賃貸住宅」がD評価となっている。 施策目標(2)「安全な道路交通環境の整備」については、「歩行空間のバリアフリー化」「屋外広告物の撤去」「各種交通安全施設の整備」「市内循環バス(川越シャトル)」など概ね計画どおりに進捗できた。 施策目標(3)「安全・安心なまちづくり」については、「ユニバーサルデザインによる都市公園等の整備」「旅客施設、車両等のバリアフリー化」など概ね計画どおりに進捗できたが、「防犯灯の整備」がB評価、重点施策の「公共施設等のバリアフリー化」がC評価となっている。 施策目標(4)「子ども等の交通安全を確保するための活動の推進」については、重点施策の「交通安全教育」及び「児童の登校時の交通安全確保」など概ね計画どおりに進捗できた。 施策目標(5)「子ども等を犯罪等の被害から守るための活動の推進」については、重点施策の「川越市防犯のまちづくり基本方針に基づく各種施策」など概ね計画どおりに進捗できたが、「CAPプログラム」がD評価となっている。
【掲載事業の内訳】 新規事業	0 (0)	0 〔0〕	0 〔0〕	-	-	-	-	-	施策目標(6)「被害に遭った子どもの支援の推進」については、「犯罪被害者支援推進協議会への補助」など概ね計画どおりに進捗できた。
拡充事業	4 (3)	32,611 〔30,236〕	88,682 〔82,294〕	3 (2)	-	1 (1)	-	-	
継続事業	39 (37)	642,709 〔573,269〕	707,215 〔677,141〕	35 (33)	2 (2)	-	2 (2)	-	

<合計>	274 (233)	5,563,296 〔4,634,273〕	6,465,215 〔5,351,763〕	213 (184)	37 (28)	11 (10)	10 (8)	3 (3)	事業数及び平成18年度末の進捗状況のカッコ内については、再掲の事業を含めない実事業数を記載しております。 平成18年度末の進捗状況(5段階評価)については、各所管課が評価を行っております。
【掲載事業の内訳】 新規事業	29 (22)	4,752 〔4,570〕	4,417 〔3,805〕	6 (5)	13 (9)	7 (6)	3 (2)	0 (0)	
拡充事業	71 (54)	1,406,041 〔1,300,807〕	1,507,260 〔1,033,942〕	54 (42)	12 (8)	3 (3)	2 (1)	0 (0)	
継続事業	174 (157)	4,152,503 〔3,328,896〕	4,953,538 〔4,314,016〕	153 (137)	12 (11)	1 (1)	5 (5)	3 (3)	

3. 目標事業量設定事業の進捗状況

事業名	計画スタート時 (平成17年4月)	平成17年度末	平成18年度末	平成21年度末までの 目標事業量
つどいの広場	0箇所	3箇所	5箇所	10箇所
学童保育事業	1,824人	1,824人	1,850人	2,082人
病後児保育事業 (施設型)	0箇所・0人	0箇所・0人	0箇所・0人	1箇所・10人
一時保育事業 1	6箇所・60人	6箇所・60人	11箇所・110人	24箇所・120人
特定保育事業 1				
地域子育て支援センター事業	4箇所	4箇所	6箇所	5箇所
保育所による地域子育て支援事業	28箇所	30箇所	30箇所	34箇所
通常保育事業 2	2,520人	2,520人	2,595人	3,098人
延長保育事業 3	21箇所・532人	31箇所・832人	31箇所・817人	35箇所・1,090人

1 「一時保育事業」と「特定保育事業」は一体化

2 定員数

3 公立保育所:登録児童について、定員90人以上は平均的な3歳児の配置基準の15人、90人未満は10人として、スポットは一律で3人として積算

・前延長と後延長の保育を実施しているため各定数を計上

民間保育所:各園に照会して受け入れ可能児童数を確認

・前延長と後延長の保育を実施している場合は各定数を計上

4 事業別進捗状況

(1) 基本目標1 子どもと親の豊かな健康づくりの推進

1-(1) 子どもと親の健康の確保・増進

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1 母子保健地域組織育成事業	拡充	保健推進員に対する研修会の開催及び母子保健に関する情報提供などを支援した。 随時	0	0	保健推進員に対する研修会の開催及び母子保健に関する情報提供などを支援した。 随時	0	0	A	保健推進員に対する研修会を実施したことにより、保健推進員の資質の向上が図られた。なお、今後の課題として、妊産婦の不安を受容できるよう保健推進員の資質の向上を更に図っていく。	0	総合保健センター
2 事故防止対策	継続	のびのび子育て広場を開催し、生活習慣の確立と事故防止の啓発を実施。 ・実施回数 6回 ・参加人数(組) 160組	88	77	乳幼児の事故防止に関するパネルを作成し、児童センターこどもの城、川越駅東口児童館等に掲示した。	35	47	A	乳幼児に対する事故防止の啓発活動については、これまでも様々な事業を通し実施しており、保護者の関心も高まっている。今後も子どもの事故防止についての啓発事業について、推進していく。	41	総合保健センター
3 乳幼児健診	拡充	4か月・1歳6か月・3歳3か月児を対象に身体発育・精神発達の両面から健診を行い、児の健康の保持増進を図った。 ・4か月児健康診査(年間36回) 該当児数 2,715人 受診児数 2,510人 ・1歳6か月児健康診査(年間48回) 該当児数 2,840人 受診児数 2,660人 ・3歳児健康診査(年間48回) 該当児数 3,017人 受診児数 2,639人	23,428	23,541	4か月・1歳6か月・3歳3か月児を対象に身体発育・精神発達の両面から健診を行い、児の健康の保持増進を図った。 ・4か月児健康診査(年間36回) 該当児数 2,788人 受診児数 2,598人 ・1歳6か月児健康診査(年間48回) 該当児数 2,771人 受診児数 2,600人 ・3歳児健康診査(年間48回) 該当児数 2,936人 受診児数 2,645人	23,585	23,764	A	乳幼児健診については、高い受診率を維持しており、健診の目的を十分果たすことができた。なお、今後の課題としては、未受診者の状況把握を実施し、受診勧奨を強化する。それととも、未受診者・要支援者のフォロー体制を充実させる。	24,698	総合保健センター
4 乳幼児相談	拡充	育児不安の解消と保護者同士の情報交換の場として、乳幼児相談を実施。 ・実施回数 35回 ・来所者数 2,019人	1,286	1,000	育児不安の解消と保護者同士の情報交換の場として、乳幼児相談を実施。 ・実施回数 36回 ・来所者数 2,129人	1,197	1,124	A	定例開催されている乳幼児相談については、多くの方に利用されており、育児不安の解消等に寄与している。なお、今後の課題としては、公民館・サークル等の依頼を受け、保健師・栄養士・歯科衛生士等による出前相談を充実させていく。	1,270	総合保健センター
5 母乳育児相談	継続	助産師による母乳育児相談を乳幼児相談と同時に実施した。 ・実施回数 18回 ・相談者数 262人	126	126	助産師による母乳育児相談を乳幼児相談と同時に実施した。 ・実施回数 18回 ・相談者数 311人	210	210	A	母乳に関する相談に個別に対応しており、母親の不安を解消し、母乳育児の推進が図られた。今後も継続して実施していく。	210	総合保健センター
6 電話による健康相談	拡充	もしもし健康相談 901件 女性相談 65件 その他相談 4,587件	894	406	もしもし健康相談 898件 女性相談 77件 その他相談 5,154件	504	504	A	電話相談については、気軽に相談できることから、多くの人に利用されており、問題解決等にも寄与している。なお、今後の課題としては、子どもと母の健康に関する相談、不妊・更年期等の相談を充実させる。	504	総合保健センター
7 2歳児親子歯科健診	継続	2歳児とその親の歯科健診を実施。 ・実施回数 12回 ・受診児数 460人 ・受診保護者数 343人	1,362	1,432	2歳児とその親の歯科健診を実施。 ・実施回数 12回 ・受診児数 354人 ・受診保護者数 269人	1,601	1,507	A	健診を実施したことにより、受診者は、口腔衛生の意識が高まり、むし歯の減少に努めるようになった。今後も継続して実施していく。	1,530	総合保健センター
8 フッ化物塗布・洗口事業	継続	歯っぴーフェスティバル、健康まつり等イベントにて実施。 ・フッ化物塗布 470人 ・洗口事業 292人	0	0	歯っぴーフェスティバル、健康まつり等イベントにて実施。 ・フッ化物塗布 586人 ・洗口事業 465人	0	0	A	フッ化物塗布・洗口事業を通して、むし歯予防のための意識啓発が図られた。今後も継続して実施していく。	0	総合保健センター
9 予防接種の接種率向上	拡充	広報・ホームページによる情報提供、健康づくりスケジュールの全戸配布により、予防接種の接種勧奨等を行った。	0	0	広報・ホームページによる情報提供、健康づくりスケジュールの全戸配布により、予防接種の接種勧奨等を行った。	0	0	A	予防接種の接種勧奨については、広報・ホームページの情報提供、健康づくりスケジュールの全戸配布等により、周知が図られている。なお、今後の課題としては、対象者に対する個別通知を実施するなど、一層の周知徹底を図ることを検討する。	0	総合保健センター

10	保健推進員による妊婦訪問	拡充	訪問を希望する妊婦に対し、保健推進員が訪問を実施した。 ・訪問件数 438件 ・依頼件数 673件	880	742	訪問を希望する妊婦に対し、保健推進員が訪問を実施した。 ・訪問件数 525件 ・依頼件数 742件	880	911	B	保健推進員の訪問は、実績はあるものの、訪問を希望する妊婦の最近の傾向として、保健推進員ではなく、専門職の助産師、保健師等による訪問も希望している。このため、今後、訪問のあり方について、検討していく必要があると思われる。	880	総合保健センター
11	新生児、産婦訪問指導	拡充	出産後2か月以内の第1子及び第2子以降で希望のあった母子に対し、訪問指導を実施した。 ・新生児 1,057人 ・産婦 1,036人	4,211	3,663	出産後2か月以内の第1子及び第2子以降で希望のあった母子に対し、訪問指導を実施した。 ・新生児 1,190人 ・産婦 1,173人	4,833	4,681	A	川越市の新生児、産婦訪問指導については、専門の助産師による木目が細かい指導を実施しており、訪問実績も十分である。なお、今後の課題としては、専門職である助産師を更に確保していく。	4,689	総合保健センター
12	乳幼児訪問指導	拡充	健診・相談・関係機関の依頼等により、保健師が訪問指導を実施した。 ・乳児 57件 ・幼児 83件	0	0	健診・相談・関係機関の依頼等により、保健師が訪問指導を実施した。 ・乳児 116件 ・幼児 74件	0	0	A	支援の必要な乳幼児に対して、保健師による訪問指導が実施されており、訪問指導後についても、適切なフォローを実施している。今後も継続して実施していく。	0	総合保健センター
13	不妊に対する支援	継続	特定不妊治療費の助成 ・交付件数 68件 不妊専門相談センター ・相談件数 17件	8,495	7,261	特定不妊治療費の助成 ・交付件数 81件 不妊専門相談センター ・相談件数 28件	8,480	8,466	A	特定不妊治療費の助成件数も不妊専門相談センターの相談件数についても、前年実績を上回った利用がなされている。今後も支援を継続していく。	14,480	総合保健センター
14	妊婦健康診査	継続	・妊婦一般健康診査定 1回目 2,775人 ・妊婦一般健康診査定 2回目 2,575人 ・H B s抗原検査 2,768人 ・超音波検査 301人 ・HIV抗体検査 2,715人	48,771	46,242	・妊婦一般健康診査定 1回目 2,701人 ・妊婦一般健康診査定 2回目 2,634人 ・H B s抗原検査 2,688人 ・超音波検査 376人 ・HIV抗体検査 2,605人	47,917	46,127	A	妊婦健診については、高い受診率を維持しており、健診の目的を十分果たすことができた。なお、今後の課題として、公費負担の妊婦健診の回数を5回に増やすことや健診項目も増やすことを検討する。	47,830	総合保健センター
15	母親学級・両親学級	拡充	妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及、不安の解消及び仲間づくりの場を提供することを目的に、マタニティスクールとプレパパママスクールを開催した。 ・マタニティスクール 延実施回数 18回 参加人数 297人 ・プレ・パパママスクール 実施回数 10回 参加人数 292人	521	519	妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及、不安の解消及び仲間づくりの場を提供することを目的に、マタニティスクールとプレパパママスクールを開催した。 ・マタニティスクール 延実施回数 18回 参加人数 297人 ・プレ・パパママスクール 実施回数 10回 参加人数 348人	469	450	A	母親学級・両親学級については、妊婦やその夫に、妊娠、出産、育児等について学習していただくことにより、積極的に出産に臨んでもらうことができた。今後の課題としては、実施日を夏休みや冬休みに設定するなど、参加しやすいよう工夫することである。	551	総合保健センター
16	マタニティ体操	継続	妊娠6か月以上の妊婦を対象に、出産準備が積極的にできるよう体操や呼吸法を指導した。 ・実施回数 12回 ・延参加人数 252人	262	115	妊娠6か月以上の妊婦を対象に、出産準備が積極的にできるよう体操や呼吸法を指導した。 ・実施回数 12回 ・延参加人数 163人	171	131	A	マタニティ体操については、妊婦の方に、体操や呼吸法を学んでもらうことにより、出産準備を積極的に行っていた。今後の課題として、内容を更に充実させていく。	166	総合保健センター
17	マタニティクッキング	継続	妊娠5か月以上の妊婦を対象に、妊娠期及びその後の食生活をよりよくすることを目的として、調理実習・指導を行った。 ・実施回数 12回 ・延参加人数 110人	146	112	妊娠5か月以上の妊婦を対象に、妊娠期及びその後の食生活をよりよくすることを目的として、調理実習・指導を行った。 ・実施回数 12回 ・延参加人数 96人	159	114	A	マタニティクッキングについては、妊婦の方に、調理実習を通して栄養に関する知識を学んでいただくことにより、妊娠期及びその後の食生活の改善が図られた。今後の課題として、内容を更に充実させていく。	120	総合保健センター
18	妊婦歯科健診	継続	妊娠5か月以上の妊婦を対象に、妊娠中に起こりやすい歯科疾患の予防のため健診と歯みがき指導を実施した。 ・実施回数 12回 ・参加人数 153人	518	588	妊娠5か月以上の妊婦を対象に、妊娠中に起こりやすい歯科疾患の予防のため健診と歯みがき指導を実施した。 ・実施回数 12回 ・参加人数 169人	602	613	A	健診を実施したことにより、受診者は、口腔衛生の意識が高まり、むし歯の減少に努めるようになった。今後も継続して実施していく。	612	総合保健センター

19	母子栄養食品の支給	継続	低所得世帯の妊産婦・乳児に対し粉ミルクを支給し、併せて健康状態、育児状況の把握・指導を行った。 ・妊産婦 2人 ・乳児 8人	224	149	低所得世帯の妊産婦・乳児に対し粉ミルクを支給し、併せて健康状態、育児状況の把握・指導を行った。 ・妊産婦 0人 ・乳児 9人	232	120	A	低所得世帯の妊産婦・乳児に対し粉ミルクの支給や健康状態・育児状況の把握及び指導をすることにより、母体の健康保持、胎児及び出産後の乳児の健全な成長の支援ができた。今後の課題としては、更に充実した制度としていく。	245	総合保健センター
20	のびのび子育て広場	継続	のびのび子育て広場を開催し、生活習慣の確立と事故防止の啓発を実施。 ・実施回数 6回 ・参加人数(組) 160組	-	-	終了	-	-	E		-	総合保健センター
21	離乳食教室	継続	離乳食の初期、中期に教室を開始し、離乳食についての指導を実施した。 ・初期 実施回数 12回 参加人数 228組 ・中期 実施回数 12回 参加人数 172組	187	191	離乳食の初期、中期に教室を開始し、離乳食についての指導を実施した。 ・初期 実施回数 12回 参加人数 242組 ・中期 実施回数 12回 参加人数 166組	241	159	A	離乳食教室については、離乳食の初期又は中期の児とその保護者の方に、調理実習を通して離乳食に関する知識を学んでいただくことにより、離乳食に関する不安の解消が図られた。今後の課題として、内容を更に充実させていく。	195	総合保健センター
22	おやつと歯みがき教室	継続	2歳6か月から4歳児とその保護者を対象におやつづくりを行うことで、おやつのあり方の興味を高めると同時に、口腔内の手入れの仕方について指導を行った。 ・実施回数 12回 ・延参加人数 104組	112	104	2歳6か月から4歳児とその保護者を対象におやつづくりを行うことで、おやつのあり方の興味を高めると同時に、口腔内の手入れの仕方について指導を行った。 ・実施回数 12回 ・延参加人数 131組	157	127	A	おやつ歯みがき教室については、2歳6か月児から4歳児とその保護者の方に、食への興味を高めると同時に口腔内の手入れについて体験していただくことにより、幼児期における食習慣の重要性を認識していただいた。今後の課題として、内容を更に充実させていく。	152	総合保健センター
23	育児関連講座等への協力	拡充	市内の公民館、児童館、子育てサークル等からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容での講義、実習等を実施した。 ・実施回数 27回 ・参加者延べ953人	60	28	市内の公民館、児童館、子育てサークル等からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容での講義、実習等を実施した。 ・実施回数 33回 ・参加人数延べ1,228人	78	42	A	市内の公民館、児童館、子育てサークル等からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容での講義、実習等が実施できた。今後は、講座開催の機会を増やしていけるよう、公民館等関係機関と連携を図るとともに、子育てサークル等にも周知していく。	35	総合保健センター
24	未熟児・長期療養児訪問指導	拡充	健診・相談・関係機関からの依頼等により、訪問が必要とされる場合に保健師等が訪問指導を実施した。 ・要指導者への訪問指導 336人	89	0	健診・相談・関係機関からの依頼等により、訪問が必要とされる場合に保健師等が訪問指導を実施した。 ・要指導者への訪問指導 402人	201	52	A	健診・相談・関係機関からの依頼等により、保健師等による訪問指導を実施しており、訪問指導後も適切なフォローを実施している。なお、今後の課題として、処遇困難事例に対する検討会等を開催し、担当者の資質の向上を図っていく。	183	総合保健センター
25	ひよこ教室・ひよこサロン	継続	ひよこ教室(未熟児教室) ・実施回数 2回・延参加人数 15組 ひよこサロン(ちいさく生まれた子どもを持つ親の会) ・実施回数12回・延参加人数 33組	105	32	ひよこ教室(未熟児教室) ・実施回数 2回・延参加人数 34組 ひよこサロン(ちいさく生まれた子どもを持つ親の会) ・実施回数12回・延参加人数 66組	138	83	A	ひよこ教室、ひよこサロンの開催により、乳幼児の成長の確認、育児支援及び育児不安の解消、親同士の交流の場を提供できた。今後も継続して実施していく。	108	総合保健センター
26	ダウン症児を持つ親の会	継続	いもっこの会の開催 ・実施回数 11回 ・延参加人数 166組	69	60	いもっこの会の開催 ・実施回数 11回 ・延参加人数 113組	83	10	A	いもっこの会の開催により、ダウン症児の保護者に対し、情報交換や講演会を通じ、互いに助け合える支援の場を提供できた。今後も継続して実施していく。	128	総合保健センター
27	食物アレルギーの子どもをもつ親の会	継続	ポッポサークルの開催 ・実施回数 12回 ・延参加人数 99組	0	0	ポッポサークルの開催 ・実施回数 12回 ・延参加人数 78組	69	33	A	ポッポサークルの開催により、食物アレルギーの子どもをもつ保護者に対し、随時情報提供、育児不安の解消等の支援の場を提供できた。今後も継続して実施していく。	108	総合保健センター

28	すくすくクリニック	継続	未熟児及び健診等で発育・発達に遅れがみられる概ね1歳までの子供を対象に診察・相談を実施した。 ・実施回数 12回 ・受診者数 65人	489	449	未熟児及び健診等で発育・発達に遅れがみられる概ね1歳までの子供を対象に診察・相談を実施した。 ・実施回数 12回 ・受診者数 67人	493	465	A	未熟児及び発育・発達に遅れがみられる概ね1歳までの子どもを対象に、診察・相談を実施することにより、成長・発達を正しく評価し、健やかな育成と育児についての支援ができた。今後は、相談体制を充実させ、更に受診しやすい制度にしていく。	487	総合保健センター
29	発育・発達クリニック	拡充	乳幼児健診断、相談等で成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に、診察・発達テスト・相談を実施した。 ・実施回数 12回 ・受診者数 92人	969	957	乳幼児健診断、相談等で成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に、診察・発達テスト・相談を実施した。 ・実施回数 12回 ・受診者数 80人	973	957	A	成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児等を対象に、診察・相談・発達テストを実施することにより、成長・発達を正しく評価し、健やかな育成と育児についての支援ができた。今後は、相談体制を充実させ、更に受診しやすい制度にしていく。	1135	総合保健センター
30	こどもの心の健康相談	拡充	乳幼児健診断、相談等で成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に、診察・発達テスト・相談を実施した。 ・実施回数 12回 ・受診者数 54人	960	943	乳幼児健診断、相談等で成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に、診察・発達テスト・相談を実施した。 ・実施回数 12回 ・受診者数 66人	973	963	A	心の健康に心配がある乳幼児等を対象に、診察・相談・発達テストを実施することにより、成長・発達を正しく評価し、健やかな育成と育児についての支援ができた。今後は、相談体制を充実させ、更に受診しやすい制度にしていく。	1135	総合保健センター
31	多胎児をもつ親の会	継続	ハッピーエンジェルへの支援 ・実施回数 24回 ・延参加人数 406組	84	0	ハッピーエンジェルへの支援 ・実施回数 24回 ・延参加人数 356組	63	0	A	多胎児をもつ親の会に対し、より専門的な育児の相談・保護者同士の情報交換の場を提供することにより、多胎児の育児をより楽しくプラス思考で行えるような支援ができた。今後も継続して実施していく。	75	総合保健センター
32	乳幼児医療費の助成 (平成18年度以降こども医療費の助成)	拡充	こどもが必要とする医療を容易に受けられるようにし、こどもの保健の向上と福祉の増進を図るためこどもに対する医療費の一部を支給した。 6月診療分から入院を15歳の年度末までに拡大し、自己負担金を廃止した。 (通院は従来どおり、小学校就学前まで) 支給件数 282,288件 支給額 551,921千円	647,328	587,367	こどもが必要とする医療を容易に受けられるようにし、こどもの保健の向上と福祉の増進を図るためこどもに対する医療費の一部を支給した。 支給件数 293,053件 支給額 572,249千円	651,833	606,668	A	こどもが必要とする医療を容易に受けられるようにし、こどもの保健の向上と福祉の増進を図るためこどもに対する医療費の一部を支給する。 支給予定件数 303,000件 支給予定額 585,000千円	621,703	医療助成課

(網掛) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

1-(2) 「食育」の推進

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		所管課	
		予算額	決算額	予算額	決算額		予算額	決算額		
1 幼稚園・保育所等における指導	拡充	0	0	0	0	A	0	0	保育課	
2 小・中学校への指導	継続	小学校2年生に対する食に関する指導 196回 3,050人 小・中学校への食に関する指導 22回 各種広報誌の発行 6回	0	0	小学校2年生に対する食に関する指導 196回 2,935人 小・中学校への食に関する指導 22回 各種広報誌の発行 6回	0	0	小学校2年生に対する食に関する指導 202回 2,925人 小・中学校への食に関する指導 食に関する指導の全体計画の作成 各種広報誌の発行 6回	0	給食センター
		児童生徒が生涯にわたり健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるための指導を行った。	0	0	児童生徒が生涯にわたり健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるための指導を行った。	0	0	引き続き、児童生徒が生涯にわたり健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるための指導を行う。	0	教育指導課
		学校栄養職員の研修会を実施した。 1回 17名	0	0	学校栄養職員の研修会を実施した。 1回 17名	0	0	学校栄養職員の研修会を実施する。 1回	0	学校管理課
3 地域の特色を活かした「食育」の実践活動	継続	0	0	0	0	A	0	0	給食センター	
4 情報発信活動	拡充	0	0	0	0	A	0	0	総合保健センター	
5 乳幼児健診・相談時の栄養相談	拡充	-	-	-	-	A	-	-	総合保健センター	
6 食生活改善推進員協議会の活動支援	拡充	0	0	0	0	A	0	0	総合保健センター	
7 地域活動栄養士会との協働	拡充	0	0	45	14	B	0	0	総合保健センター	
8 マタニティクッキング・離乳食教室・おやつと歯みがき教室・2歳児親子歯科健診での展開	拡充	-	-	-	-	A	-	-	総合保健センター	

1-(3) 思春期保健対策の充実

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		所管課		
		予算額	決算額	予算額	決算額		予算額	決算額			
1 薬物乱用防止啓発	継続	・保健所窓口や健康まつりにおいて、各種のリーフレット等を配布し啓発を図った。 ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動6.26ヤング街頭キャンペーン(川越駅周辺)に参画した。 ・小中学校等の開催する薬物乱用防止講演会のため講師を派遣した。派遣回数4回 受講者数1,168人	165	24	・保健所窓口や健康まつりにおいて、各種のリーフレット等を配布し啓発を図った。 ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動6.26ヤング街頭キャンペーン(北朝霞駅周辺)に参画した。 ・小中学校等の開催する薬物乱用防止講演会のため講師を派遣した。派遣回数5回 受講者数1,395人	126	95	A	・保健所窓口や健康まつりにおいて、各種のリーフレット等を配布し啓発を行う予定。 ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動6.26ヤング街頭キャンペーン(所沢駅周辺)に参画する予定。 ・小中学校等の開催する薬物乱用防止講演会のため講師を派遣する予定。	71	保健総務課
		児童生徒の薬物乱用を未然に防止するため、児童生徒に薬物に対する正しい知識や乱用の恐ろしさ等について理解させ、薬物乱用をさせない資質や能力を育成する指導を行った。 薬物乱用防止教室の開催:57校(全校)実施	0	0	児童生徒の薬物乱用を未然に防止するため、児童生徒に薬物に対する正しい知識や乱用の恐ろしさ等について理解させ、薬物乱用をさせない資質や能力を育成する指導を行った。 薬物乱用防止教室の開催:57校(全校)実施	0	0	A	引き続き、児童生徒の薬物乱用を未然に防止するため、児童生徒に薬物に対する正しい知識や乱用の恐ろしさ等について理解させ、薬物乱用をさせない資質や能力を育成する指導を行う。 薬物乱用防止教室の開催:57校(全校)実施予定 保護者の参加を促す。	0	教育指導課
2 思春期保健相談	新規	・思春期の体の相談室 (5回/年実施 相談者15名) ・思春期保健講座 (5回/年開催 参加者265名)	165	165	・思春期の体の相談室 (12回/年実施 相談者67名) ・思春期保健講座 (3回/年開催 参加者103名)	396	396	B	・思春期の体の相談室 (12回/年実施予定) ・高校への出前講座・相談 ・思春期保健講座	396	保健予防課
		学校等から随時、電話等の思春期相談を受け付けた。	141	141	学校等から随時、電話等の思春期相談を受け付けた。	165	91			0	165
		学校等から随時、電話等の思春期相談を受け付けた。	0	0	学校等から随時、電話等の思春期相談を受け付けた。	0	0	B	学校等から随時、電話等により思春期相談を実施することができた。今後の課題として、啓発活動を強化していく。	0	総合保健センター
3 子育て体験学習	新規	未実施	0	0	未実施	0	0	D	事業実施に向け、関係機関と調整していく。	0	総合保健センター
4 中学生の健康教育	継続	学校からの依頼により、中学生を対象に、健康教育を随時実施した。	0	0	学校からの依頼により、中学生を対象に、健康教育を随時実施した。	0	0	B	学校からの依頼による、中学生を対象とする健康教育を随時実施した。今後の課題として、啓発活動を強化していく。	0	総合保健センター
5 飲酒・喫煙防止対策	拡充	未成年の飲酒・喫煙防止について、広報・ポスター等により啓発活動を実施した。	0	0	未成年の飲酒・喫煙防止について、広報・ポスター等により啓発活動を実施した。	0	0	A	未成年の飲酒・喫煙防止について、広報・ポスター等により啓発活動を実施した。今後の課題として、啓発活動を強化していく。	0	総合保健センター
6 性感染症対策	継続	・性感染症検査・相談 (月3回 受検者182名)	0	0	・性感染症検査・相談及び即日検査 (月3回 受検者390名)	0	0	A	・性感染症検査・相談及び即日検査 (月3回実施予定)	0	保健予防課
		・エイズを含む性感染症予防啓発事業	0	0	・エイズ関連講座 (1回/年開催 参加者28名) ・エイズを含む性感染症予防啓発事業	33,000	33,000		・エイズ関連講座 (年1回開催予定) ・エイズを含む性感染症予防啓発事業	33,000	0

1 - (4) 小児医療の充実

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度未 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		所管課
		予算額	決算額	予算額	決算額		予算額	決算額	
1 小児救急医療対策事業	継続	0	0	0	0	A	・当該事業については現在、左記の理由により市が主体となって事業を実施していない。 ・小児初期救急医療体制病院で対応可能な患者についても、第二次救急医療体制病院である埼玉医科大学総合医療センターへ駆けつけるケースが多く見られ、第二次救急病院としての機能が阻害されている状況にある。 ・事業目標:拠点病院の存続(1病院)	0	保健医療推進課
2 休日急患・小児夜間診療事業	継続	62,539	59,630	45,755	44,794	A	小児の初期救急医療を確保するため、本年度も休日及び夜間に小児科の診療を行う。	46,311	診療所
3 未熟児養育医療給付	継続	24,618	21,109	21,778	21,499	A	養育のため、指定養育医療機関に入院した未熟児に対し、その養育に必要な医療給付を行った。 ・受給者数 97人	27,152	総合保健センター
4 身体障害児育成医療給付等	継続	9,036	9,081	8,876	5,617	A	健全育成・福祉向上を図るため、身体に障害のある児童に対して、必要な医療の給付を行った。 ・受給者数 102人	5,434	総合保健センター
5 結核児童療育医療給付	継続	483	427	483	143	A	健全育成・福祉向上を図るため、結核児童に対して、必要な医療の給付を行った。 ・受給者数 2人	128	総合保健センター
6 小児慢性特定疾患医療給付	継続	49,610	37,109	49,548	37,769	A	小児の慢性疾患のうち、国が指定した特定疾患について、必要な医療給付を行った。 ・受給者数 233人	42,740	総合保健センター

(2)基本目標2 心身の健やかな成長に資する教育環境づくりの推進

2-(1) 次代の親の育成

〔網掛け〕 重点施策

〔進捗状況〕 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 〔目標事業量に対する実績値〕	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 〔目標事業量に対する実績値〕	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 〔平成21年度目標事業量〕	予算額	所管課
1 男女平等教育研修会	継続	教職員を対象に、男女共同参画社会の実現についての講演会を開催した。 教師用リーフレット「男女平等教育の推進」を作成し、啓発に努めた。	180	167	教職員を対象に、男女共同参画社会の実現についての講演会を開催した。 教師用リーフレット「男女平等教育の推進」を作成し、啓発に努めた。	170	71	A	教職員を対象に、男女共同参画社会の実現についての講演会を開催する。 教師用リーフレット「男女平等教育の推進」を作成し、啓発に努める。	103	教育指導課
2 中学生社会体験事業	継続	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、豊かな感性や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育むことができた。 ・参加生徒数 2,849人 ・協力事業所 803社	1,320	1,320	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育むことができた。 ・参加生徒数 2,833人 ・協力事業所 784社	1,320	1,320	A	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育む。 ・参加生徒数 2,899名(予定)	1,320	教育指導課
3 子育て体験学習 (1-(3)-3の再掲)	新規	未実施	-	-	未実施	-	-	D	事業実施に向け、関係機関と調整していく。	-	総合保健センター

2-(2) 子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備

〔網掛け〕 重点施策

〔進捗状況〕 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 〔目標事業量に対する実績値〕	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 〔目標事業量に対する実績値〕	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 〔平成21年度目標事業量〕	予算額	所管課
1 小・中学校への指導 (1-(2)-2の再掲)	継続	小学校2年生に対する食に関する指導 196回 3,050人 小・中学校への食に関する指導 22回 各種広報誌の発行 6回	-	-	小学校2年生に対する食に関する指導 196回 2,935人 小・中学校への食に関する指導 22回 各種広報誌の発行 6回	-	-	A	小学校2年生に対する食に関する指導 202回 2,925人 小・中学校への食に関する指導 食に関する指導の全体計画の作成 各種広報誌の発行 6回	-	学校管理課
		児童生徒が生涯にわたり健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるための指導を行った。	-	-	児童生徒が生涯にわたり健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるための指導を行った。	-	-	A	引き続き、児童生徒が生涯にわたり健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるための指導を行う。	-	教育指導課
		小学校2年生に対する食に関する指導 196回 3,050人 小・中学校への食に関する指導 22回 各種広報誌の発行 6回	-	-	小学校2年生に対する食に関する指導 196回 2,935人 小・中学校への食に関する指導 22回 各種広報誌の発行 6回	-	-	A	小学校2年生に対する食に関する指導 202回 2,925人 小・中学校への食に関する指導 食に関する指導の全体計画の作成 各種広報誌の発行 6回	-	給食センター
2 子ども情報提供事業	継続	川越市子ども情報誌「小江戸探検隊」を年4回発行。市立小中学校の児童生徒の全家庭に配布。	1,080	774	川越市子ども情報誌「小江戸探検隊」を年4回発行。市立小中学校の児童生徒の全家庭に配布。	1,080	756	A	川越市子ども情報誌「小江戸探検隊」を年4回発行。市立小中学校の児童生徒の全家庭に配布。	900	生涯学習課
3 臨床心理士配置事業	新規	教育総合相談センター(リベアラ)に1人配置し、学校やリベアラにおける相談活動の指導、助言を行った。 ・相談件数 219件	1,395	1,364	教育総合相談センター(リベアラ)に1人配置し、学校やリベアラにおける相談活動の指導、助言を行った。 ・相談件数 275件	1,395	1,395	A	教育総合相談センター(リベアラ)に1人配置し、学校やリベアラにおける相談活動の指導、助言を行う。	1,372	教育研究所
4 さわやか相談員配置事業	継続	児童生徒や保護者への相談活動、家庭訪問等を実施した。 ・中学校22校に11人配置 ・相談者延べ人数 8,042人	9,010	8,973	児童生徒や保護者への相談活動、家庭訪問等を実施した。 ・中学校11校に11人配置 ・相談者延べ人数 8,046人	9,911	9,805	A	児童生徒や保護者への相談活動、家庭訪問等を実施する。 ・中学校22校に22人配置	25,185	教育研究所

5	学校カウンセリング研修事業	継続	カウンセリングに必要な理論や技法を身につけるために、教職員やさわやか相談員への研修を実施した。 ・学校教育相談コンサルテーション研修会...2回 ・学校カウンセリング初級研修会...3回 同中級...9回 ・特色あるさわやか相談室づくり研修会...3回 ・担任のための不登校児童生徒への支援研修会...3回	185	127	教職員やさわやか相談員への研修を実施した。 ・学校教育相談コンサルテーション研修会...2回 ・学校カウンセリング初級研修会...3回 同中級...9回 ・特色あるさわやか相談室づくり研修会...3回 ・担任のための不登校児童生徒への支援研修会...3回	175	151	A	教職員や川越市さわやか相談員への研修を実施する。 ・学校教育相談コンサルテーション研修会...2回 ・学校カウンセリング初級研修会...3回 同中級...9回 ・特色あるさわやか相談室づくり研修会...3回	175	教育研究所
6	適応指導教室	継続	教育総合相談センターにおいて、不登校児童生徒への学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施した。 ・通室 小学生2人、中学生10人	1,140	1,008	教育総合相談センターにおいて、不登校児童生徒への学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施した。 ・通室 中学生7人	1,080	2,104	A	教育総合相談センターにおいて、不登校児童生徒への学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施する。 ・通室 中学生7人	2,135	教育研究所
7	総合的な学習の時間の支援	継続	学校への訪問指導	0	0	学校への訪問指導	0	0	A	学校への訪問指導	0	教育指導課
		未実施		0	0	未実施	0	0	D	未実施	0	教育研究所
8	川越市教職員研修事業	拡充	川越市立学校(小・中・高・養護)の教職員を対象とした研修を実施した。 研修講座数 81 研修日数 216日 参加者数 2,397人 参加延べ人数 5,643人 主な内容は、年次研修・職能別研修・重点研修・奨励研修など	6,837	3,827	川越市立学校(小・中・高・養護)の教職員を対象とした研修を実施した。 研修講座数 82 研修日数 213日 参加者数 2,259人 参加延べ人数 5,502人 主な内容は、年次研修・職能別研修・重点研修・奨励研修など	5,696	4,755	A	川越市立学校(小・中・高・養護)の教職員を対象とした研修を実施する。研修内容の工夫改善を図り、一部の研修にコースによる選択制を導入した 研修講座数 85 研修日数 277日 参加予定数 2,611人 参加延べ人数 5,768人 主な内容は、年次研修・職能別研修・重点研修・奨励研修など	6,388	教育研究所
9	指導方法の工夫改善、少人数学級	拡充	市内全小中学校に、県費により指導法改善に伴う加配教員が配置され、少人数指導・チームティーチングを実施 ・加配教員数 ...小学校48人、中学校34人 少人数学級については学校管理課	0	0	市内全小中学校に、県費により指導法改善に伴う加配教員が配置され、少人数指導・チームティーチングを実施 ・加配教員数 ...小学校48人、中学校33人	0	0	A	市内全小中学校に、県費により指導法改善に伴う加配教員が配置され、少人数指導・チームティーチングを実施 ・加配教員数 ...小学校49人、中学校34人	0	教育指導課
			対象学年における1学級あたりの人数が多い学校において、市独自の少人数学級編制を行い、1学級増になった学校に、市費採用の臨時講師を配置した。少人数学級のための臨時講師 5名	16,439	15,828	対象学年における1学級あたりの人数が多い学校において、市独自の少人数学級編制を行い、1学級増になった学校に、市費採用の臨時講師を配置した。少人数学級のための臨時講師 8名 32,098,000円	29,098	27,645	A	対象学年における1学級あたりの人数が多い学校において、市独自の少人数学級編制を行い、1学級増になった学校に、市費採用の臨時講師を配置する。少人数学級のための臨時講師 8名	31,129	学校管理課
10	教育副読本の整備	継続	小学校3,4年生の社会科の副読本を整備した。	4,899	4,437	小学校3,4年生の社会科の副読本を整備した。	4,898	4,048	A	小学校3,4年生の社会科の副読本を整備する。	4,696	教育指導課

11	中学校社会体験事業 (2-(1)-2の再掲)	継続	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、豊かな感性や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育むことができ ・参加生徒数 2,849人 ・協力事業所 803社	-	-	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育むことができた。 ・参加生徒数 2,833人 ・協力事業所 784社	-	-	A	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育む。 ・参加生徒数 2899名(予定)	-	教育指導課
12	国際理解教育	継続	小学校における総合的な学習の時間等の国際理解教育、英語活動の充実のための研修会、研究資料の作成を行った。 ・国際理解教育研修会2回 参加者87人 ・国際理解教育推進委員会 4回 参加者36人	30	30	小学校における総合的な学習の時間等の国際理解教育、英語活動の充実のための研修会、研究資料の作成を行った。 ・国際理解教育研修会2回 参加者88人 ・国際理解教育推進委員会 4回 参加者32人	30	30	A	小学校における総合的な学習の時間等の国際理解教育、英語活動の充実のための研修会を実施する。 ・国際理解教育研修会2回 参加者88人	20	教育研究所
13	情報教育	継続	情報教育について研修会を実施するとともに、コンピュータ等情報教育機器の整備、研究資料の作成を行った。 小学校33校 843台 中学校22校 946台 更新 中学校10校各41台(410台) パソコン初級講座他3研修会 9回	109,270	93,296	情報教育について研修会を実施するとともに、コンピュータ等情報教育機器の整備、研究資料の作成を行った。 小学校33校 843台 中学校22校 946台 更新 小学校6校各21台 パソコン初級講座他3研修会 9回	115,482	84,754	B	情報教育について研修会を実施するとともに、コンピュータ等情報教育機器の整備、研究資料の作成を行う。 小学校33校 843台 中学校22校 946台 小学校25校のコンピュータ室、小中学校55校職員室用(各校1台)更新 やさしいパソコン操作研修会他、4研修会	136,152	教育研究所
14	土曜体験教室	継続	学校週5日制において、子どもたちに豊かな体験の場を提供した。 22回 延べ1,426人	60	60	学校週5日制において、子どもたちに豊かな体験の場を提供した。 21回 延べ1,232人	60	36	A	学校週5日制において、子どもたちに豊かな体験の場を提供する。	60	博物館
15	子ども博物館教室	継続	子どもたちに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深めた。 3回 延べ142人	54	36	子どもたちに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深めた。 3回 延べ98人	54	30	A	子どもたちに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深める。	12	博物館
16	夏休み子ども体験	継続	夏季休業日を活用して、学校との連携を図り、学校教育と連動した学習や体験の場を提供した。 3回 延べ211人	12	12	夏季休業日を活用して、学校との連携を図り、学校教育と連動した学習や体験の場を提供した。 4回 延べ232人	12	21	A	夏季休業日を活用して、学校との連携を図り、学校教育と連動した学習や体験の場を提供する。	12	博物館
17	昔の遊び	継続	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむ機会を提供した。 2回 延べ255人	0	0	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむ機会を提供した。 2回 延べ225人	0	0	A	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむ機会を提供する。	0	博物館
18	ミュージアムシアター	継続	映画を通して、日本の歴史・文化に親しみ、平和について考える機会とした。 2回 延べ89人	0	0	予定なし	0	0	D	予定なし	0	博物館
19	人権教育	継続	人権作文集「あけぼの」を3,200部発行。いのちこころを大切に作る絵画展を3日間開催。 496 179	273 118	273 118	人権作文集「あけぼの」を3,200部発行。いのちこころを大切に作る絵画展を3日間開催。 496 179	272 97	A	人権作文集「あけぼの」を3,200部発行予定。 いのちこころを大切に作る絵画展を3日間開催予定。	521 179	生涯学習課	
20	人権啓発事業	継続	人権意識の高揚と差別意識や偏見の解消に向けた啓発をさまざまな機会を利用して行った。 0	0	0	人権意識の高揚と差別意識や偏見の解消に向けた啓発をさまざまな機会を利用して行った。 0	0	A	人権意識の高揚と差別意識や偏見の解消に向けた啓発をさまざまな機会を利用して行う。	0	人権推進課	

21	学校部活動補助事業	継続	部活動加入率は93.9%。学年や学級を離れての自主的な活動は、仲間とのふれあいを通して協調性や責任感等の育成でき、教育的な意義があった。	3,200	3,180	部活動に93.7%の生徒が加入(昨年度比+0.8%)。また、部活動数は、326部(昨年度比+9部)であった。	3,200	3,186	A	部活動は生徒の健全な発育や体力向上の視点から教育的な意義は大変大きい。外部指導者や地域との連携を図るとともに生徒や学校の要望に応えられる部活動運営に努める。	3,200	教育指導課
22	公立学校施設の整備	継続	学校施設の耐震性能の向上を図るとともに、施設・整備の等の改善改修を行った。	1,215,829	660,377	学校施設の耐震性能の向上を図るとともに、施設・整備の等の改善改修を行った。	2,099,260	1,617,599	C	学校施設の耐震性能の向上を図るとともに、施設・整備の等の改善改修を行う。	655,037	教育財務課
23	幼児教育振興プログラムの策定	新規	策定に向けて調査・研究を行った。	0	0	プログラムの原案作成及び検討を行った	0	0	B	策定を完了する。	0	教育指導課
24	育児関連講座	継続	育児に関する情報や親子でふれあいを深める学習機会を提供した。 21講座 87回 参加者延べ2,356人	575	1,325	育児に関する情報や親子でふれあいを深める学習機会を提供した。 20講座 76回 参加者延べ1,334人	678	514	B	育児に関する情報や親子でふれあいを深める学習機会を提供する。	653	中央公民館
25	幼保小連絡懇談会の実施	継続	「様々な遊びや活動をとおして、基礎的な体力をどう身に付けさせていくか。」をテーマに幼稚園・保育園・小学校の教職員の参加のもと開催した。 内容 レポート提案 グループ協議等 参加者 237名	30	26	「様々な遊びや活動をとおして、基礎的な体力をどう身に付けさせていくか。」をテーマに幼稚園・保育園・小学校の教職員の参加のもと開催した。 内容 レポート提案 グループ協議等 参加者 235名	30	25	A	「様々な遊びや活動をとおして、どのように子どもの人間関係をつくっていくか。」をテーマに幼稚園・保育園・小学校の教職員の参加のもと開催する。	30	教育指導課
26	川越市子ども読書活動推進計画の策定・推進	新規	教育委員会で報告、本年度から実施を開始した。	0	0	計画に基づき、各施策を実施した。	0	0	B	関係諸機関及び関係者が協力して読書活動を推進する体制を整備する。	0	教育指導課
27	学校図書館図書の本整備	拡充	「学校図書館図書標準」の達成に向け、計画的な図書購入及び廃棄に努めた。 ・達成率 小学校56.4% 中学校67.3%	28,711	28,483	「学校図書館図書標準」の達成に向け、計画的な図書購入及び廃棄に努めた。 ・達成率 小学校59.3% 中学校70.2%	29,857	29,788	C	引き続き「学校図書館図書標準」の達成に向け、計画的な図書購入及び廃棄に努める。	30,739	教育指導課
28	小江戸読書マラソン事業	継続	小学校全児童に対して読書マラソンカードを配布し、30冊以上読んだ児童に認定証を渡した。 ・参加児童数18,061名 認定数8,061名	445	139	小学校全児童に対して読書マラソンカードを配布し、30冊以上読んだ児童に認定証を渡した。 ・参加児童数18,260名 認定数8,470名	440	139	A	小学校全児童に対して読書マラソンカードを配布し、30冊以上読んだ児童に認定証を渡す。	325	教育指導課
29	小江戸中学生読書手帳事業	継続	中学校1年生に対して、推薦図書を紹介した手帳を配布し、読書活動の啓発を実施した。 ・活用している9校 ・あまり活用していない13校	217,000	127,875	中学校1年生に対して、推薦図書を紹介した手帳を配布し、読書活動の啓発を実施した。 ・活用している15校 ・あまり活用していない7校	171	128	B	中学校1年生に対して、推薦図書を紹介した手帳を配布し、読書活動の啓発を実施した。活用をさらに進めるとともに、様式や実施方法について改善案を検討する。	140	教育指導課

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

2-(3) 家庭や地域の教育力の向上

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		予算額	所管課
		予算額	決算額	予算額	決算額		予算額	決算額		
1 教育相談・就学相談事業	継続	1,972	1,964	2,292	2,194	A	子どもの教育に関すること、学校生活、発達や就学に関する相談に応じる。 ・川越市就学支援委員会(25名予定)	2,412	教育研究所	
2 不登校児童生徒保護者セミナー	継続	0	0	0	0	A	不登校児童生徒の保護者を対象に、不登校理解のためのセミナーを実施し、相談に応じる。 ・3回実施予定	0	教育研究所	

3	学習相談	継続	高階北学習情報館に学習相談員を配置し学習相談を行った。	1,165	1,033	高階北学習情報館に学習相談員を配置し学習相談を行った。	1,149	912	B	高階北学習情報館に学習相談員を配置し学習相談を行う。	1,374	生涯学習課
4	家庭教育学級	継続	保護者に対して家庭教育に関する学習の機会を提供するため、PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託した。 ・55校PTA	2,200	2,200	保護者に対して家庭教育に関する学習の機会を提供するため、PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託した。 ・54校PTA	2,160	2,160	A	保護者に対して家庭教育に関する学習の機会を提供するため、PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託する。 ・54校PTA	2,160	生涯学習課
5	家庭教育講座	拡充	家庭教育に関する講演会や学習会を実施した。 23講座 104回 参加者延べ2,374人	1,876	1,395	家庭教育に関する講演会や学習会を実施した。 28講座 114回 参加者延べ2,434人	1,600	1,553	A	家庭教育に関する講演会や学習会を実施する。	1,595	中央公民館
6	総合型地域スポーツクラブ	拡充	地域住民が主体的、自主的に運営する総合型地域スポーツクラブの設置・育成に努めた。育成では、9つの教室や大会を開催した。 教室等参加者合計約200名	350	350	地域住民が主体的、自主的に運営する総合型地域スポーツクラブの設置・育成に努めた。育成では、10の教室や大会を開催した。 教室等参加者合計約250名	300	300	B	地域住民が主体的、自主的に運営できるよう人的・物的な支援に努める。新たに1箇所設置できるよう準備を進める。	300	市民スポーツ課
7	スポーツ少年団	継続	子どもたちに、多くの種目のスポーツを経験させ、体力の向上を図るため、体育祭や体力テスト会を開催した。 参加者数合計 3,454名	500	500	子どもたちに、多くの種目のスポーツを経験させ、体力の向上を図るため、体育祭や体力テスト会を開催した。 参加者数合計 3,390名	600	600	A	子どもたちに、多くの種目のスポーツを経験させ、体力の向上を図るため、体育祭や体力テスト会を開催する。	700	市民スポーツ課
8	学校体育施設開放事業	継続	地域住民のスポーツやレクリエーション活動の場の確保を図るため、市内の小中学校及び中学校の体育施設を住民に開放した。学校体育施設開放参加人数273,468名。霞北プール開放参加人数3,930名。学校プール開放参加人数216名。	13,215	13,215	地域住民のスポーツやレクリエーション活動の場の確保を図るため、市内の小中学校及び中学校の体育施設を住民に開放した。学校体育施設開放参加人数232,440名。霞北プール開放参加人数3,130名。学校プール開放参加人数219名。	12,576	12,576	A	地域住民のスポーツやレクリエーション活動の場の確保を図るため、市内の小中学校及び中学校の体育施設を住民に開放する。	12,433	市民スポーツ課
9	人材バンク	新規	子どもサポート推進事業の取組の一環として、モデル4地区に地域の人材バンクを設置する。	子どもサポート推進事業予算の一部		子どもサポート推進事業の取組の一環として、市内14地区ごとに地域の人材バンクを設置する。一部地区では活用も開始。	子どもサポート推進事業予算の一部		C	子どもサポート推進事業の取組の一環として、市内14地区ごとに地域の人材バンクを設置する。地域の人材をどう発掘していくか。またどう活かしていくか。	子どもサポート推進事業予算の一部	生涯学習課
10	学生ボランティアの活用	新規	市内の2つの大学と連携して小中学生向けの講座を実施。実施校の学生にボランティアとして参加してもらう。	200	80	市内の3つの大学と連携して小中学生向けの講座を実施。実施校の学生にボランティアとして参加してもらう。また一部地区の子どもサポート事業にも参加してもらう。	200	150	B	市内の4つの大学と連携して小中学生向けの講座を実施。実施校の学生にボランティアとして参加してもらう。その他サポート事業へも参加してもらう。	200	生涯学習課
11	出前講座	新規	PTA家庭教育学級や公民館事業において人権教育の講座を実施する際には、生涯学習課人権教育担当の職員を講師として派遣	0	0	PTA家庭教育学級や公民館事業において人権教育の講座を実施する際には、生涯学習課人権教育担当の職員を講師として派遣	0	0	B	PTA家庭教育学級や公民館事業において人権教育の講座を実施する際には、生涯学習課人権教育担当の職員を講師として派遣	0	生涯学習課
12	エコチャレンジファミリー事業	継続	・67家族がエコチャレンジファミリー認定 ・3種類の全コースを修了した7家族をゴールドエコチャレンジファミリーに認定 ・小学生向けに「省エネワークブック」作成	126	197	・20家族がエコチャレンジファミリー認定 ・ゴールドエコチャレンジファミリー0件	72	84	A	引き続き電力量を測る機器を貸し出すことを通じて省エネの取組を市域に広げる。 課題 ・申込者の安定確保 ・省エネワークブック活用者の確保 ・参加者の追跡調査	67	環境政策課
13	市民環境調査	継続	「川越の樹めぐり」として、講師による巨樹・古木にまつわる歴史等の説明や、樹高の測定を実演した。 【1回実施 参加者数12人】	140	17	「親子で湧水探訪」として、講師指導のもと湧水の水質調査を行った。 【1回実施 参加者数6人】	120	71	A	「レモンの雨がふってくる(酸性雨調査)」を実施予定。	115	環境政策課
14	星空観察の集い	継続	児童センターこどもの城にて、夏期と冬期に実施した。 ・夏期 参加者数49人 ・冬期 参加者数19人	53	52	児童センターこどもの城にて、夏期と冬期に実施した。 ・夏期 参加者数49人 ・冬期 参加者数43人	53	33	A	児童センターこどもの城にて、夏期と冬期に実施予定。	53	環境政策課

15	省エネ・新エネフェアin産博	継続	・エコチャレンジファミリー認定事業の紹介 ・川越市の新エネルギー関連施策の紹介 のべ1,500名以上の参加	0	0	・エコチャレンジファミリー認定事業の紹介 ・川越市の新エネルギー関連施策の紹介 ・低公害車の展示 のべ623名の参加	0	0	A	引き続き環境問題への啓発効果が高い展示をおこなう 課題 ・参加企業数の確保 ・集客力の高い展示内容の考案	0	環境政策課
16	環境ふれあい教室(水生生物調	継続	水生生物の生息状況を調べて、川の水質を知ることにより、水辺への親しみや身近な環境問題に関心を高めてもらうため、水生生物調査を実施した。 ・環境ふれあい教室 1回14人	97	17	水生生物の生息状況を調べて、川の水質を知ることにより、水辺への親しみや身近な環境問題に関心を高めてもらうため、水生生物調査を実施した。 ・環境ふれあい教室 1回20人	97	81	A	水生生物の生息状況を調べて、川の水質を知ることにより、水辺への親しみや身近な環境問題に関心を高めてもらう機会をつくる。 ・環境ふれあい教室 1回30人予定	105	環境保全課
17	夏休み親子リサイクル体験ツアー	継続	市内の小学生の親子を対象に参加者を募集し、借り上げバスにてごみ処理施設の見学及びごみとして排出された廃材を利用して工作教室を実施した。 参加者 8月16日 22人 8月17日 23人	99	71	市内の小学生の親子を対象に参加者を募集し、借り上げバスにてごみ処理施設の見学及びごみとして排出された廃材を利用して工作教室を実施した。 参加者 8月22日 24人 8月23日 22人	198	56	A	ごみ処理施設の状況を親子で見学し、リサイクル工作を体験することにより、ごみの減量・資源化に対する理解を高めてもらう。	180	資源循環推進課
18	市民の森	継続	(1)維持管理 清掃(週1回)、除草業務委託(年2回)、剪定、枯損木処理(随時) (2)施設改修 第1号施設修繕工事	8,616	8,382	(1)維持管理 清掃(週1回)、除草業務委託(年2回)、剪定、枯損木処理(随時) (2)施設改修 第6号施設修繕工事	8,272	8,161	A	(1)維持管理 清掃(週1回)、除草業務委託(年2回)、剪定、枯損木処理(随時) (2)施設改修 第9号施設修繕工事	8,088	環境政策課
19	こどもエコクラブ	継続	会員募集のほか、市主催のイベントを実施した。登録数(20クラブ、423会員) ・研修会(海洋環境保全教室) 参加者数26人 ・交流会 参加者数16人	276	182	会員募集のほか、市主催のイベントを実施した。登録数(16クラブ、314会員) ・研修会 参加者数17人 ・交流会 参加者数28人 ・発表会 参加2クラブ、4人	210	131	B	会員募集のほか、市主催のイベントを実施予定。 イベントへの参加クラブ数を増やしていくことが課題。	187	環境政策課
20	エコチャレンジスクール	継続	養護学校及び市立川越高等学校が加わり、市内全57校がエコチャレンジスクールに認定された。 ・環境教育研修会 1回 参加者46名 ・環境教育資料冊子(エコチャレンジスクール認定事業平成16年度導入校実践報告書) ・リーフレット作成	210	208	第1期の取組を終了した小・中38校が再申請を行い、エコチャレンジスクールに認定された。 ・環境教育研修会 1回 参加者49名 ・環境教育資料冊子(エコチャレンジスクール認定事業平成17・18年度実践校報告書(平成17年度認定校)) ・リーフレット作成	180	73	A	第2期の取組を終了した小・中17校と第1期の取組を終了した養護学校及び市立川越高等学校の19校が再申請をし、今後審査を行う。 ・環境教育研修会1回 参加者予定56名 ・環境教育資料冊子 ・リーフレット作成	229	教育研究所

(3)基本目標3 子育ての喜びを実感し、子どもとともに成長できる機会の充実

(網掛け) 重点施策

3-(1) 親の学びの機会の充実

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度未 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		所管課	
		予算額	決算額	予算額	決算額		予算額	決算額		
1 母親学級・両親学級 (1-(1)-15の再掲)	拡充	妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及、不安の解消及び仲間づくりの場を提供することを目的に、マタニティスクールとプレパパママスクールを開催した。 ・マタニティスクール 延実施回数 18回 参加人数 297人 ・プレ・パパママスクール 実施回数 10回 参加人数 292人	-	-	妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及、不安の解消及び仲間づくりの場を提供することを目的に、マタニティスクールとプレパパママスクールを開催した。 ・マタニティスクール 延実施回数 18回 参加人数 297人 ・プレ・パパママスクール 実施回数 10回 参加人数 348人	-	-	A 母親学級・両親学級については、妊婦やその夫に、妊娠、出産、育児等について学習していただくことにより、積極的に出産に臨んでもらうことができた。今後の課題としては、実施日を夏休みや冬休みに設定するなど、参加しやすいよう工夫することである。	-	総合保健センター
2 育児関連講座 (2-(2)-24の再掲)	継続	育児に関する情報や親子でふれあいを深める学習機会を提供した。 21講座 87回 参加者延べ2,356人	-	-	育児に関する情報や親子でふれあいを深める学習機会を提供した。 20講座 76回 参加者延べ1,334人	-	-	B 育児に関する情報や親子でふれあいを深める学習機会を提供する。	-	中央公民館
3 家庭教育講座 (2-(3)-5の再掲)	拡充	家庭教育に関する講演会や学習会を実施した。 23講座 104回 参加者延べ2,374人	-	-	家庭教育に関する講演会や学習会を実施した。 28講座 114回 参加者延べ2,434人	-	-	A 家庭教育に関する講演会や学習会を実施する。	-	中央公民館

3-(2) 親の社会参画の機会の充実

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度未 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		所管課	
		予算額	決算額	予算額	決算額		予算額	決算額		
1 「つどいの広場」	新規	7月から川越福祉センター、南古谷第二保育園、笠幡菜の花保育園(法人園)の3箇所事業を開始した。 【3箇所】	2,851	2,820	6月から新たに高階保育園、神明町保育園で事業を開始した。 【5箇所】	1,641	1,314	B 既に実施している川越福祉センターを午後も実施した。 本年度2箇所開設する予定 【10箇所】	2,189	保育課
2 家庭教育学級 (2-(3)-4の再掲)	継続	保護者に対して家庭教育に関する学習の機会を提供するため、PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託した。 ・55校PTA	-	-	保護者に対して家庭教育に関する学習の機会を提供するため、PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託した。 ・54校PTA	-	-	A 保護者に対して家庭教育に関する学習の機会を提供するため、PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託する。 ・54校PTA	-	生涯学習課
3 イベント等への参加促進	新規	年度当初に庁内関係各課イベント等の際の託児についての配慮を文書で依頼した。	0	0	年度当初に庁内関係各課イベント等の際の託児についての配慮を文書で依頼した。 託児実施課18課 実績729名(延べ人数)	0	0	A 年度当初に庁内関係各課イベント等の際の託児についての配慮を文書で依頼した。 託児実施予定課17課 託児実施予定581名(延べ人数)	0	全庁的に対応

(4)基本目標4 仕事と子育ての両立を支援する施策の充実

4-(1) 多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し

(網掛) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1 育児休業取得等の推進・啓発	拡充	労働法サマーセミナー、労働学院、労働安全衛生セミナー及び(財)21世紀職業財団との共催講座等において育児休業取得等の推進・啓発リーフレット等を配布した。	0	0	各種講座での啓発リーフレットの配布に加え、中小企業退職金共済掛金補助申請をした事業所に資料を配布した。	0	0	A	講座受講者及び補助金等申請事業所に啓発資料を配布する。	0	商工振興課
2 ハローワーク求人情報の提供	継続	本庁、出張所、南連絡所、女性会館、サンライフ川越において、ハローワーク川越求人情報を毎週更新し提供した。	0	0	本庁、出張所、南連絡所、女性会館、サンライフ川越において、ハローワーク川越求人情報を毎週更新し提供した。11月からは、市ホームページでも情報提供を開始した。	0	0	A	本庁、出張所、南連絡所、女性会館、サンライフ川越及び市ホームページにおいて、ハローワーク川越求人情報を毎週更新し提供する。	0	商工振興課
3 求職相談	継続	ハローワーク川越と協力して高齢者職業相談室において求職相談をおこなった。 相談件数7,332件 就職件数866件	1,063	928	ハローワーク川越と協力して高齢者職業相談室において求職相談をおこなった。 相談件数7,582件 就職件数916件	2,072	2,049	E	高齢者職業相談室に変わるものとして、主に団塊世代を対象としたキャリアカウンセリング、ライフプランセミナーを開催予定。 キャリアカウンセリング月2回 ライフプランセミナー年2回	852	商工振興課
4 資格・技能情報の収集と提供	継続	インターネットを利用した彩の国仕事発見システムを常時閲覧可能にして求人情報を提供した。 県就職支援プラザを連携して就職支援セミナーを開催した。 参加者18名	138	112	主に勤労者を対象にパソコン基礎講座を2回、宅建基礎講座を開催した。 第1回パソコン基礎講座 参加者延べ70名 第2回パソコン基礎講座 参加者延べ67名 宅建基礎講座 参加者延べ87名 彩の国仕事発見システムによる求人情報を提供した。	408	292	A	技術取得のための講座を6回程度開催予定。 彩の国仕事発見システムによる求人情報提供を引き続き実施。	432	商工振興課
5 国・県の機関との連携	継続	ハローワーク川越等と連携して若年者を対象とした若者就職面接会を開催した。 参加事業所38社 参加者119名 県西部産業労働センターと連携して労働法等に関する講座を開催した。 労働法サマーセミナー他 延べ参加者258名	695	276	ハローワーク川越等と連携して若年者を対象とした若者就職面接会を予定より増やし2回開催した。 第1回 参加事業所40社 参加者91名 第2回 参加事業所22社 参加者151名 県西部産業労働センターと連携して労働法等に関する講座を開催した。 労働法サマーセミナー他 延べ参加者374名	581	519	A	若者就職面接会を2回、労働法サマーセミナー、労働学院、労働安全衛生セミナー等をそれぞれ開催予定。	690	商工振興課
6 労働基本調査	継続	平成16年度に実施。次回は20年度予定。	0	0	平成16年度に実施。次回は20年度予定。	0	0	D	平成16年度に実施。次回は20年度予定。	0	商工振興課
7 労働相談	継続	勤労者、事業主双方を対象に社会保険労務士等による労働相談を実施した。 12回開催 相談7件	120	120	勤労者、事業主双方を対象に社会保険労務士等による労働相談を実施した。 12回開催 相談7件	120	120	A	勤労者、事業主双方を対象に社会保険労務士等による労働相談を実施する。 12回開催予定	120	商工振興課

8	一般事業主との連絡協議会	新規	川越市に本社がある301人以上雇用している事業主を対象に会議を開催した。2回開催 参加事業主 延べ4社	0	0	川越市に本社がある301人以上雇用している事業主を対象に会議を開催した。2回開催 参加事業主 延べ4社	0	0	C	参加事業主が少ないので、参加対象を広げて協議会等を開催するとともに、関係機関と協力して、計画の円滑な推進を図る。	0	子育て支援課
9	女性の就労支援事業	継続	女性の就労支援や資格取得を目的とした講座を実施した。 ・社会保険労務教室 15回 延べ293人 ・日商簿記3級講座 20回 延べ596人 ・ビジネス実務法務3級講座 15回 延べ452人 ・福祉住環境コーディネーター3級講座 8回 延べ268人 ・女性の再就職のためのパソコン基礎講座 6回 延べ58人 ・就労支援講座 1回 9人	885	885	女性の就労支援や資格取得を目的とした講座を実施した。 ・福祉住環境コーディネーター3級講座 8回 延べ231人 ・日商簿記3級講座 20回 延べ560人 ・ビジネス実務法務3級講座 15回 延べ221人 ・カラーコーディネーター3級講座 9回 延べ255人 ・POPレタリング講座 10回 延べ146人 ・Re・Beワークセミナー 2回 延べ32人 ・女性の再就職のためのパソコン基礎講座 12回 延べ205人 ・就労支援セミナー 1回 20人	1,148	1,148	A	女性の就労支援や資格取得を目的とした講座を実施する。 ・宅建基礎講座 25回 ・社会保険労務教室 15回 ・福祉住環境コーディネーター3級講座 8回 ・日商簿記3級講座 20回 ・カラーコーディネーター3級講座 9回 ・女性の再就職支援事業 1回 ・女性の再就職のためのパソコン基礎講座 12回	1,309	女性会館

4 - (2) 仕事と子育ての両立の推進 (網掛け) 重点施策 (進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了 (単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1 ファミリーサポートセンター事業 (5 - (1) - 8に掲載)	拡充	依頼会員 585名 提供会員 214名 依頼提供会員 25名 活動件数 5,510件	-	-	依頼会員 714名 提供会員 269名 依頼提供会員 28名 活動件数 5,475件	-	-	A	依頼会員 890名 提供会員 330名 依頼提供会員 30名 活動件数 5,300件 課題:取扱い窓口が1箇所しかないので地域の為に増設する。	-	保育課
2 学童保育事業 (5 - (1) - 1に掲載)	拡充	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内33学童保育室で保育した。 1,824人	-	-	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内33学童保育室で保育した。 1,850人	-	-	A	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内33学童保育室で保育する。 2,082人	-	教育財務課
3 病後児保育事業(施設型) (5 - (1) - 2に掲載)	新規	開設に向けて、調査研究を行った。 【0箇所・0人】	0	0	開設に向けて、調査研究を行った。 【0箇所・0人】	0	0	C	平成20年度の開設に向けて、関係団体調整を図る。 【1箇所・10人】	0	保育課
4 一時保育事業 (5 - (1) - 3に掲載)	拡充	公立保育所5園、法人立保育所1園で実施。 法人立保育所に対し、平成18年度に新規実施希望があるか打診。	-	-	公立保育所5園、法人立保育所4月時3園、7月時1園、10月から1園、計5園で実施。	-	-	A	法人立保育所に対し、平成20年度の新規事業実施について打診。	-	保育課
5 特定保育事業 (5 - (1) - 4に掲載)	新規	一時的保育事業の「非定型型保育サービス事業」として特定保育事業に相当する事業を実施。	-	-	一時的保育事業の「非定型型保育サービス事業」として特定保育事業に相当する事業を実施。	-	-	A	通常保育事業と一時的保育事業と特定保育事業をどのように区分し、実施するかを検討。	-	保育課
6 「つどいの広場」 (3 - (2) - 1に掲載)	新規	7月から川越福祉センター、南古谷第二保育園、笠幡菜の花保育園(法人園)の3箇所で事業を開始した。 【3箇所】	-	-	6月から新たに高階保育園、神明町保育園で事業を開始した。 【5箇所】	-	-	B	既に実施している川越福祉センターを午後も実施した。 本年度2箇所開設する予定 【10箇所】	-	保育課

7	法人立保育所への支援 (5 - (2) - 7に掲載)	拡充	民間保育所の運営の充実と進行を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成した。	-	-	民間保育所の運営の充実と進行を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成した。	-	-	A	民間保育所の運営の充実と進行を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成する。	-	保育課
8	家庭保育室委託事業 (5 - (2) - 8に掲載)	拡充	・委託費、研修費、保育補助者推進費の単価を増額した。 ・第二子軽減費の適用範囲を拡大 平成17年度入所児童数(延べ)2743名 (市外委託分含む) 平成17年度入所率67.5%	-	-	・保育料軽減費の一部改正を実施した。 平成18年度入所児童数(延べ)2739名 (市外委託分含む) 平成18年度入所率76.4%	-	-	B	家庭保育室に入室している児童の保護者の保育料負担額が認可保育園に比べて高い傾向にあること等から入室率が7割程度となっている。家庭保育室の運営の安定化及び保護者の保育料負担額の公平性から保育料軽減費の見直しを図る必要がある。	-	保育課
9	認可外保育施設への助成制度 (5 - (2) - 9に掲載)	拡充	家庭保育室以外の認可外保育施設への助成制度について調査・研究を行った。	-	-	家庭保育室以外の認可外保育施設への助成制度について調査・研究を行った。	-	-	B	県及び他市の動向を踏まえ、検討する。	-	保育課
10	認可外保育施設等の認可化支援 (5 - (2) - 10に掲載)	拡充	事案なし	-	-	事案なし	-	-	D	認可外の保育施設が認可化を行なうために施設整備を行う場合、国が規定する施設整備補助事業に該当する場合に、国の補助に併せて市からも補助を行なう。	-	保育課
11	幼稚園での預かり保育事業 (5 - (2) - 11に掲載)	拡充	(人数割) 1～2歳児 300,000×30 = 9,000,000 3歳以上 170,000×326 = 55,420,000 長期休業加算 27園×300,000 = 8,100,000 施設経費補助 29園×400,000 = 11,600,000	-	-	(人数割) 1～2歳児 300,000×42 = 12,600,000 3歳以上 170,000×324 = 55,080,000 長期休業加算 27園×300,000 = 8,100,000 施設経費補助 29園×400,000 = 11,600,000	-	-	A	(人数割) 1～2歳児 300,000×39 = 11,700,000 3歳以上 170,000×359 = 61,030,000 長期休業加算 30園×300,000 = 9,000,000 施設経費補助 30園×400,000 = 12,000,000	-	保育課

(5)基本目標5 子育てを地域で支える仕組づくりの推進

(網掛) 重点施策

5 - (1) 地域における子育て支援サービスの充実

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1 学童保育事業	拡充	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内33学童保育室で保育した。 【1,824人】	367,949	354,609	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内33学童保育室で保育した。 【1,850人】	410,565	-	A	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内33学童保育室で保育する。 【2,082人】	451,777	教育財務課
2 病後児保育事業(施設型)	新規	開設に向けて、調査研究を行った。 【0箇所・0人】	0	0	開設に向けて、調査研究を行った。 【0箇所・0人】	0	0	C	平成20年度の開設に向けて、関係団体調整を図る。 【1箇所・10人】	0	保育課
3 一時保育事業	拡充	公立保育所5園、法人立保育所1園で実施。 法人立保育所に対し、平成18年度に新規実施希望があるか打診。 【6箇所・60人】			公立保育所5園、法人立保育所4月時3園、7月時1園、10月から1園、計5園で実施。 【11箇所・110人】			A	法人立保育所に対し、平成20年度の新規事業実施について打診。 【24箇所・120人】		保育課
4 特定保育事業	新規	一時的保育事業の「非定型型保育サービス事業」として特定保育事業に相当する事業を実施。 【6箇所・60人】			一時的保育事業の「非定型型保育サービス事業」として特定保育事業に相当する事業を実施。 【11箇所・110人】			A	通常保育事業と一時的保育事業と特定保育事業をどのように区分し、実施するを検討。 【24箇所・120人】		保育課
5 地域子育て支援センター事業	拡充	電話相談(毎週月・水・金曜日) 育児相談(毎週月・水曜日) 子育て情報紙「わくわく」の発行 月1回 子育て講座(公民館と共催) 保育ボランティアの養成 サークル支援・育成、その他の支援(講習会等)・子育て情報紙の発行 【3箇所】			電話相談(毎週月・水・金曜日) 育児相談(毎週月・水曜日) 子育て講座(公民館と共催) 子育てボランティアの育成支援 サークル支援・育成、その他の支援(講習会等) 【6箇所】			B	19年度より支援室の利用時間を延ばし実施する。 今成支援室(9:15-12:00 14:45-16:30)月～金 名細支援室(9:30-12:00 13:00-16:30)月～金 【5箇所】		保育課
6 保育所による地域子育て支援事業	拡充	支援センター...下田保育園、パンピ保育園、風の子保育園、今成支援室、名細支援室 つどいの広場...笠幡菜の花保育園、南古谷第二保育園 川越福祉センター 【28箇所】			支援センター...今成支援室、名細支援室、下田保育園、むさしの保育園、増美保育、パンピ保育園、風の子保育園 つどいの広場...笠幡菜の花保育園、南古谷第二保育園、神明町保育園、高階保育園 川越福祉センター 【30箇所】			B	支援センター...今成支援室、名細支援室、下田保育園、むさしの保育園、増美保育、パンピ保育園、風の子保育園 つどいの広場...笠幡菜の花保育園、南古谷第二保育園、神明町保育園、高階保育園 川越福祉センター 【34箇所】		保育課
7 「つどいの広場」(3-(2)-1の再掲)	新規	7月から川越福祉センター、南古谷第二保育園、笠幡菜の花保育園(法人園)の3箇所で開催した。 【3箇所】	-	-	6月から新たに高階保育園、神明町保育園で事業を開始した。 【5箇所】	-	-	B	既に実施している川越福祉センターを午後も実施した。 本年度2箇所開設する予定 【10箇所】	-	保育課
8 ファミリーサポートセンター事業	拡充	依頼会員 585名 提供会員 214名 依頼提供会員 25名 活動件数 5,510件	15,285	11,827	依頼会員 714名 提供会員 269名 依頼提供会員 28名 活動件数 5,475件	15,953	11,411	A	依頼会員 890名 提供会員 330名 依頼提供会員 30名 活動件数 5,300件 課題:取扱い窓口が1箇所しかないので地域の為に増設する。	12,678	保育課

9	家庭児童相談	拡充	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。また、子育て講演会を実施した。 ・相談件数 3,558件 ・子育て講演会 1回 79名	5,081	4,971	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。また、子育て講演会を実施した。 ・相談件数 3,404件 ・子育て講演会 1回 86名	5,051	4,938	A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じる。	4,971	子育て支援課
10	女性のための相談事業	継続	母子自立支援員が母子家庭等の様々な悩みや生活全般についての相談を受けつけた。 母子家庭相談件数 3,533件	6,945	6,950	母子自立支援員が母子家庭等の様々な悩みや生活全般についての相談を受けつけた。 母子家庭相談件数 4,856件	6,908	6,907	A	新たに就業支援相談員兼母子家庭自立支援プログラム策定員を配置し、相談体制の充実を図る。	6,918	子育て支援課
			女性の人権を守り、女性が抱えるさまざまな問題を解決するために相談に応じた。 ・カウンセリングルーム 51回187件 ・女性のためのからだの相談 24回20件	1,453	1,378	女性の人権を守り、女性が抱えるさまざまな問題を解決するために相談に応じた。 ・カウンセリングルーム 51回180件 ・女性のためのからだの相談 12回17件	1,360	1,278	A	女性の人権を守り、女性が抱えるさまざまな問題を解決するために相談に応じる。 ・カウンセリングルーム 50回200件 ・女性のためのからだの相談 12回30件	1,335	男女共同参画課

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

5 - (2) 保育サービスの充実

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1 通常保育事業	拡充	公立保育所20園、定員数1730人 延べ入所児童数:20787人 法人立保育所12園、定員数790人 延べ入所児童数:10269人 【2,520人】			公立保育所20園、定員数1730人 延べ入所児童数:21100人 法人立保育所13園、定員数865人 延べ入所児童数:10373人 注)定員数は10月1日以降 【2,595人】			A	認可保育所の定員数の増加に努める。 【3,098人】		保育課
2 延長保育事業	拡充	平成17年7月から公立保育所の全てで1時間(高階保育園は2時間)の延長保育を実施 民間保育所では、12園中11園で実施 実施園については、所要額を助成 【31箇所・545人】			平成17年7月から公立保育所の全てで1時間(高階保育園は2時間)の延長保育を実施 民間保育所では、13園中11園で実施 実施園については、所要額を助成 【31箇所・589人】			A	平成17年7月から公立保育所の全てで1時間(高階保育園は2時間)の延長保育を実施予定 民間保育所では、13園中12園で実施 実施園については、所要額を助成予定 【35箇所・1,090人】		保育課
3 統合保育事業	拡充	保育所において障害児保育を実施 平成17年4月時:63人			保育所において障害児保育を実施 平成18年4月時:75人			A	保育所において障害児保育を実施予定 平成19年4月時:77人		保育課
4 土曜保育事業	新規	平成17年7月から名細第二保育園において午後6時30分までの保育を試行事業として実施。			平成17年7月から名細第二保育園において午後6時30分までの保育を試行事業として実施。 試行事業の内容等を検討			C	試行事業の検討結果を踏まえ、他の公立保育所の実施を予定		保育課
5 産休明け保育事業	新規	産休明け保育の実施について検討	0	0	産休明け保育の実施について検討	0	0	B	産休明け保育の実施について検討	0	保育課
6 公立保育所の運営方法の検討	新規	・川越市社会福祉審議会児童福祉分科会、川越市次世代育成支援対策地域協議会における検討	0	0	・川越市社会福祉審議会児童福祉分科会、川越市次世代育成支援対策地域協議会における検討	0	0	C	・川越市社会福祉審議会児童福祉分科会、川越市次世代育成支援対策地域協議会における検討	0	保育課

7	法人立保育所への支援	拡充	民間保育所の運営の充実と進行を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成した。			民間保育所の運営の充実と進行を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成した。			A	民間保育所の運営の充実と進行を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成する。		保育課
8	家庭保育室委託事業	拡充	・委託費、研修費、保育補助者推進費の単価を増額した。 ・第二子軽減費の適用範囲を拡大 平成17年度入所児童数(延べ)2743名(市外委託分含む) 平成17年度入所率67.5%	170,782	141,772	・保育料軽減費の一部改正を実施した。 平成18年度入所児童数(延べ)2739名(市外委託分含む) 平成18年度入所率76.4%	149,025	138,304	B	家庭保育室に入室している児童の保護者の保育料負担額が認可保育園に比べて高い傾向にあること等から入室率が7割程度となっている。 家庭保育室の運営の安定化及び保護者の保育料負担額の公平性から保育料軽減費の見直しを図る必要がある。	171,018	保育課
9	認可外保育施設への助成制度	拡充	家庭保育室以外の認可外保育施設への助成制度について調査・研究を行った。	0	0	家庭保育室以外の認可外保育施設への助成制度について調査・研究を行った。	0	0	B	県及び他市の動向を踏まえ、検討する。	0	保育課
10	認可外保育施設等の認可化支援	拡充	事案なし			事案なし			D	認可外の保育施設が認可化を行なうために施設整備を行う場合、国が規定する施設整備補助事業に該当する場合には、国の補助に併せて市からも補助を行なう。		保育課
11	幼稚園での預かり保育事業	拡充	(人数割) 1～2歳児 300,000×30=9,000,000 3歳以上 170,000×326=55,420,000 長期休業加算 27園×300,000=8,100,000 施設経費補助 29園×400,000=11,600,000	75,190	84,120	(人数割) 1～2歳児 300,000×42=12,600,000 3歳以上 170,000×324=55,080,000 長期休業加算 27園×300,000=8,100,000 施設経費補助 29園×400,000=11,600,000	80,000	87,380	A	(人数割) 1～2歳児 300,000×39=11,700,000 3歳以上 170,000×359=61,030,000 長期休業加算 30園×300,000=9,000,000 施設経費補助 30園×400,000=12,000,000	93,730	保育課
12	保育士研修	継続	公立・法人・家庭保育室の保育士の研修を実施した。 乳幼児保育研修など12回、延べ約2100人が参加した。また市内の認可外保育施設の保育従事者等を対象に県・さいたま市等と共催で研修会を実施した。	1,500	1,450	公立・法人・家庭保育室の保育士の研修を実施した。 乳幼児保育研修など12回、延べ約2100人が参加した。また市内の認可外保育施設の保育従事者等を対象に県・さいたま市等と共催で研修会を実施した。	1,490	1,430	A	公立・法人・家庭保育室の保育士の研修を実施 ・乳児保育研修 3回 参加者400人 ・障害児保育研修 4回 参加者500人 ・こどもの病気予防救急法の研修 4回 参加者400人 ・食育に関する研修 3回 参加者300人 ・心とからだの発達に関する研修 3回 参加者450人	1,485	保育課
13	保育サービス評価の仕組の導入検討	新規	事案なし			川越市立保育園福祉サービス第三者評価事業…(1園実施) 民間保育園福祉サービス第三者評価事業補助金…(1園実施)未実施	500	459	B	川越市立保育園福祉サービス第三者評価事業…(1園実施) 民間保育園福祉サービス第三者評価事業補助金…課題は、民間保育園が事業への協力が必要である。	500	保育課
14	認証保育所制度の検討	新規	東京都、横浜市、さいたま市等の認可外保育施設に関する各種制度の調査・研究を行った。	0	0	引き続き先進的な取り組みについて調査・研究を行うとともに市内の認可外保育施設の状況分析を行った。	0	0	B	国の認定こども園制度が創設されたので、認証保育所制度との整合性について検討する。	0	保育課

5 - (3) 子どもの健全育成の取組

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		予算額	所管課	
		予算額	決算額	予算額	決算額		予算額	決算額			
1 子どもに関する条例	新規	特になし	0	0	他の自治体の子ども条例の研究	0	0	C	他の自治体の子ども条例の研究	0	教育指導課 人権推進課 青少年課 子育て支援課
2 人権保育	拡充	川越市人権保育推進委員会に対する助成を行うとともに保育所の人権保育を推進した。	0	0	川越市人権保育推進委員会に対する助成を行うとともに保育所の人権保育を推進した。	0	0	A	川越市人権保育推進委員会に対する助成を行うとともに保育所の人権保育を推進する。	0	保育課
3 児童手当	継続	・児童手当制度の周知に努めた。 ・支給対象児童数 合計:252,077人	0	0	・児童手当制度拡充の周知を図った(申請事由別に個別通知とともに、申請書を郵送した) ・電子申請の受付を開始した ・自治体によってホームページの情報量に差があることから、厚生労働省のホームページを充実させてもらうよう要望した。 ・平成19年度児童手当制度の拡充につき、通知書を住民にわかり易い様式にしてみらえるよう要望した。 ・支給対象児童数 合計:333,811人	1,494	1,128	A	・市ホームページの整備 ・児童手当制度拡充(乳幼児加算)の周知(該当者に個別通知を郵送) ・予算上の支給対象児童数 合計:332,321人	0 270	子育て支援課
4 就園奨励費	継続	保護者の経済的負担を軽減することができた 支給合計 6,037 名	337,607	336,297	新条件導入により、保護者への補助が拡充した 支給合計 6,052 名 (うち新条件該当 611 名)	345,261	345,230	A	国基準に従って、保護者の経済的負担をさらに軽減できるように努める	370,923	教育財務課
5 スポーツ少年団 (2-(3)-7の再掲)	継続	子どもたちに、多くの種目のスポーツを経験させ、体力の向上を図るため、体育祭や体力テスト会を開催した。 参加者数合計 3,454名	-	-	子どもたちに、多くの種目のスポーツを経験させ、体力の向上を図るため、体育祭や体力テスト会を開催した。 参加者数合計 3,390名	-	-	A	子どもたちに、多くの種目のスポーツを経験させ、体力の向上を図るため、体育祭や体力テスト会を開催する。	-	市民スポーツ課
6 学校体育施設開放事業 (2-(3)-8の再掲)	継続	地域住民のスポーツやレクリエーション活動の場の確保を図るため、市内の小中学校及び中学校の体育施設を住民に開放した。学校体育施設開放参加人数273,468名。霞北プール開放参加人数3,930名。学校プール開放参加人数216名。	-	-	地域住民のスポーツやレクリエーション活動の場の確保を図るため、市内の小中学校及び中学校の体育施設を住民に開放した。学校体育施設開放参加人数232,440名。霞北プール開放参加人数3,130名。学校プール開放参加人数219名。	-	-	A	地域住民のスポーツやレクリエーション活動の場の確保を図るため、市内の小中学校及び中学校の体育施設を住民に開放する。	-	市民スポーツ課
7 地域組織活動への研修	拡充	保健推進員に対する研修会の開催及び母子保健に関する情報提供などを支援した。また、他の団体からの依頼により、講座・講演等を実施した。	0	0	保健推進員に対する研修会の開催及び母子保健に関する情報提供などを支援した。また、他の団体からの依頼により、講座・講演等を実施した。	0	0	A	保健推進員に対する研修会を実施したことにより、保健推進員の資質の向上に寄与することができた。なお、今後も地域組織活動への研修を実施していく。	0	総合保健センター
8 児童館	拡充	高階公共施設に建設予定の児童・青少年施設の運営等について、関係課と検討を行なった。	0	0	高階公共施設に設置する児童・青少年施設の運営等について、関係課と検討を行なった。	0	0	A	高階公共施設に設置する児童・青少年施設の運営等について、関係課と検討を行なった。	3,300	青少年課

9	児童遊園	継続	市内186箇所の児童遊園について、点検及び地元自治会からの要望等により、工事、修繕等の整備を実施した。 ・廃止 2箇所 ・工事 2箇所 ・修繕等 述べ73箇所	17,792	17,383	市内183箇所の児童遊園について、点検及び地元自治会からの要望等により、工事、修繕等の整備を実施した。 ・新設 1箇所 ・廃止 3箇所 ・工事 2箇所 ・修繕等 延べ49箇所	14,513	13,890	A	地域の状況に鑑み、児童遊園を配置していくとともに、遊具等の施設について安全に利用できるような整備に努めていく。	13,723	青少年課
10	児童館機能の整備	継続	開館日数 308日 利用者数 49,954人(個人任意 38,303人 集団指導11,620人、団体31人) 集団指導内訳 ・乳幼児/保護者 んなであそぼう1・2・3 実施回数66回、参加人数5,188人 他 10事業、実施回数 100回 参加人数 5,319人 ・学 童 つくってあそんで 実施回数 13回、参加人数 56人 他 5事業、実施回数 78回 参加人数 789人 ・児童(17歳まで) おもちゃの病院 実施回数 12回、参加人数 157人 他 3事業 実施回数 3回 参加人数 111人 合 計 21事業 実施回数272回 参加人数 11,620人	18,346	18,229	開館日数 309日 利用者数 54,135人(個人任意41,811人 集団指導12,277人、団体47人) 集団指導内訳 ・乳幼児/保護者 みんなであそぼう1・2・3 実施回数70回、参加人数5,828人 他 11事業、実施回数 95回 参加人数 5,348人 ・学 童 つくってあそんで 実施回数 20回、参加人数103人 他 4事業、実施回数 70回 参加人数 677人 ・児童(17歳まで) おもちゃの病院 実施回数 12回、参加人数123人 他 3事業、実施回数 5回 参加人数 198人 合 計 21事業 実施回数272回 参加人数 12,277人	18,984	18,941	A	継続して事業を進める	21,799	青少年課 (東口児童館)
			児童センターこどもの城開館日数302日 利用者数49,458人(児童館44,547人・プラネタリウム4,848人・天体観測63人) 実施事業等の内訳 ・乳幼児親子活動 110回 7,880人 ・学童自由参加活動 147回 2,178人 ・学童登録参加活動 13回 237人 ・学童クラブ活動 64回 821人 ・体力増進指導活動 399回 8,380人 ・プラネタリウム 春夏秋冬ほか 4,848人 ・天体観測 太陽黒点・月・星 63人	57,370	55,168	児童センターこどもの城開館日数302日 利用者数52,609人(児童館47,162人・プラネタリウム5,373人・天体観測74人) 実施事業等の内訳 ・乳幼児親子活動 120回 8,704人 ・学童自由参加活動 141回 2,188人 ・学童自由参加活動 13回 275人 ・学童クラブ活動 64回 810人 ・体力増進指導活動 399回 8,179人 ・プラネタリウム 春夏秋冬ほか 5,373人 ・天体観測 太陽黒点・月・星 74人	56,138	54,345	A	継続して事業を推進	54,524	青少年課 (児童センター)
11	青少年市民会議	継続	青少年の健全育成運動が、市民総ぐるみで推進されるよう、関係団体と協働で各種事業を実施した。 ・地区会議活動費助成 22地区 ・モデル地区補助事業 6地区 ・青年海外協力隊激励 3名 ・健全育成市民大会 480名参加	4,500	4,500	青少年の健全育成運動が、市民総ぐるみで推進されるよう、関係団体と協働で各種事業を実施した。 ・地区会議活動費助成 21地区 ・モデル地区補助事業 7地区 9事業 ・青年海外協力隊激励 7名 ・健全育成市民大会 484名参加	4,500	4,416	A	青少年の健全育成運動が、市民総ぐるみで推進されるよう、関係団体と協働で各種事業を実施する。 ・地区会議活動費助成 22地区 ・モデル地区補助事業 4地区 ・青年海外協力隊激励 7名 ・健全育成市民大会 600名参加	4,050	青少年課
12	青少年団体	継続	青少年団体主催行事について、広報川越に掲載をした。また、補助金を交付し、活動の充実を図った。 ・川越市青少年団体連絡協議会 加盟4団体 ・川越市青少年相談員協議会	571	564	青少年団体主催行事について、広報川越に掲載をした。また、補助金を交付し、活動の充実を図った。 ・川越市青少年団体連絡協議会 加盟4団体 ・川越市青少年相談員協議会	461	453	A	青少年団体主催行事について、広報川越に掲載をした。また、補助金を交付し、活動の充実を図る。 ・川越市青少年団体連絡協議会 加盟4団体 ・川越市青少年相談員協議会	453	青少年課
13	「子ども110番の家」	継続	「青少年を育てる市民会議」を通じて、子ども110番プレート作成等に補助金を交付した。 ・青少年を育てる地区会議 10地区	600	500	「青少年を育てる市民会議」を通じて、子ども110番プレート作成等に補助金を交付した。 ・青少年を育てる地区会議 12地区	600	600	A	「青少年を育てる市民会議」を通じて、子ども110番プレート作成等に補助金を交付する。	300	青少年課

14	青少年の体験活動事業	継続	「青少年を育てる市民会議」に委託し、友好都市北海道中札内村を中心に、市内中学生を対象にした「少年の翼」事業を実施した。 ・市内中学生44名	3,800	3,800	「青少年を育てる市民会議」に委託し、友好都市北海道中札内村を中心に、市内中学生を対象にした「少年の翼」事業を実施した。 ・市内中学生44名	3,600	3,600	A	「青少年を育てる市民会議」に委託し、友好都市北海道中札内村を中心に、市内中学生を対象にした「少年の翼」事業を実施する。	3,700	青少年課
15	非行防止活動	継続	少年指導センターにおいて、少年補導員を中心とした街頭補導活動を704回実施した。24件の少年相談にも応じ、非行を未然に防ぐ活動を実施した。	9,799	9,589	少年指導センターにおいて、少年補導員を中心とした街頭補導活動を681回実施した。11件の少年相談にも応じ、非行を未然に防ぐ活動を実施した。	9,133	8,513	A	少年指導センターにおいて、少年補導員を中心とした街頭補導活動を積極的に行う。青少年の相談にも従事し、青少年の非行を未然に防ぐ活動を実施する。	10,075	青少年課
16	不登校児童生徒支援スタッフ事業	継続	不登校児童生徒の相談に応じるとともに、家庭訪問や学習支援等を実施した。 ・スタッフ10名を22校に配置 ・活動日数 延べ1,694日 ・相談件数 延べ5,192件	9015	8,984	不登校児童生徒の相談に応じるとともに家庭訪問や学習支援等を実施した。 ・スタッフ11名を11校に配置 ・活動日数 延べ1,760日 ・相談件数 延べ7,369件	9,916	9,810	E	終了	0	教育研究所
17	適応指導教室	継続	教育総合相談センターにおいて、不登校児童生徒への、学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施した。 ・通室 小学生2人 中学生10人	40	3	教育総合相談センターにおいて、不登校児童生徒への、学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施した。 ・通室 中学生7人	80	119	A	教育総合相談センターにおいて、不登校児童生徒への、学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施する。 ・通室 中学生7人	70	教育研究所
18	地域子どもサポート推進事業	拡充	子どもたちの「生きる力」を育むために、家庭、学校、社会教育施設(公民館)、地域社会のネットワークの中で育てる主旨から、相互に協働し実践を重ねた結果、将来にわたり活動できる基盤ができたことが成果である。	1,933	1,611	市内全域14地区に「地域子どもサポート委員会」を組織し、地域ぐるみの活動を始めることができた。地域団体関係者、ボランティアの方々、学校職員、公民館等社会教育施設職員を加え、会議を重ねる中で信頼関係を築き、地域啓発講演会の開催、地域情報誌の発行、地域人材の発掘と育成、子ども対象事業の支援・実施など幅広い活動に取り組むことができた。	2,170	1,932	A	市内14地区の地域子どもサポート委員会と委託契約を結び、地域の実態に応じ、特色を生かした取り組みを進めていく計画である。大きなイベントだけを行うのではなく、継続して子どもたちをサポートしていける取り組みを行うことを確認している。 地域によって、スムーズにスタートできないところもあるので、支援をしていく必要がある。また、サポート事業の知名度を高めていこう、様々な機会呼びかけていくことが重要であると考えている。	3,063	生涯学習課
19	ブックスタート事業	継続	4ヶ月健診会場等で、親子のふれあいについてのメッセージを伝えながら、保護者とあかちゃんに絵本を渡した。 36回実施し、2,566組が参加した。	5,234	4,732	4ヶ月健診会場等で、親子のふれあいについてのメッセージを伝えながら、保護者とあかちゃんに絵本を渡した。 36回実施し、2,645組が参加した。	4,706	4,606	A	4ヶ月健診会場等で、親子のふれあいについてのメッセージを伝えながら、保護者とあかちゃんに絵本を渡す。	4,684	中央図書館
20	いないいないばあのおはなし会	継続	0から1歳児の乳児と保護者を対象に、読み聞かせと手遊びを行った。 3館合わせて48回実施し、1,652組が参加した。	0	0	0から1歳児の乳児と保護者を対象に、読み聞かせと手遊びを行った。 3館合わせて48回実施し、1,439組が参加した。	0	0	A	0から1歳児の乳児と保護者を対象に、読み聞かせと手遊びを行う。	0	中央図書館
21	民生委員・児童委員研修会	継続	民生委員・児童委員研修 ・初任者研修 ・中堅者研修 ・主任児童委員研修等 民生委員・児童委員研修を実施し、子育て、子供の地域生活等の相談・支援活動の向上に努めた。 参考 相談支援件数 2,364件	100	59	民生委員・児童委員研修 ・初任者研修 ・中堅者研修 ・主任児童委員研修 民生委員・児童委員研修を実施し、子育て、子供の地域生活等の相談・支援活動の向上に努めた。 参考 相談支援件数 2,759件	100	50	B	民生委員・児童委員研修 ・初任者研修(総改選によるもの) ・中堅者研修 ・主任児童委員研修 民生委員・児童委員研修を実施し、子どもに関する様々な問題に対応できるように努める。	150	生活福祉課
22	スチューデントサポーター派遣事業	継続	学生ボランティアが、家庭訪問等を通して、不登校児童生徒を支援した。 ・参加学生19名 ・活動回数 延べ192回	450	650	学生ボランティアが、家庭訪問等を通して、不登校児童生徒を支援した。 ・参加学生15名 ・活動回数 延べ196回	540	518	A	学生ボランティアが、家庭訪問等を通して、不登校児童生徒を支援する。 ・15名で対応予定	540	教育研究所

5 - (4) 体験活動・交流の促進

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		予算額	所管課	
		予算額	決算額	予算額	決算額		予算額	決算額			
1 川越PTA連合会活動	継続	市内小中学校PTAの常置委員会の研修を深め、PTA活動の充実、推進を図るためPTA運営講座を実施した。 総務財政委員会・広報委員会・環境保健委員会・ 学年学級進路委員会・成人教育委員会 (家庭教育学級運営講座)	90	82	市内小中学校PTAの常置委員会の研修を深め、PTA活動の充実、推進を図るためPTA運営講座を実施した。 総務財政委員会・広報委員会・環境保健委員会・ 学年学級進路委員会・成人教育委員会 (家庭教育学級運営講座)	90	90	A	市内小中学校PTAの常置委員会の研修を深め、PTA活動の充実、推進を図るためPTA運営講座を実施する。 総務財政委員会・広報委員会・環境保健委員会・ 学年学級進路委員会・成人教育委員会 (家庭教育学級運営講座)	90	生涯学習課
2 子育て体験学習 (1 - (3) - 3の再掲)	新規	学校からの依頼により、中学生を対象に、子育て体験学習を随時実施した。	-	-	学校からの依頼により、中学生を対象に、子育て体験学習を随時実施した。	-	-	B	今後も啓発活動を強化していく。	-	総合保健センター
3 川越市子ども会育成者団体連絡協議会活動	継続	補助金の交付により、広報誌の発行や視察研修の実施により子ども会活性化に寄与している。また安全会費の補助により加入者負担を軽減し、加入率向上により子ども会活動の充実が図られている。	1,045	1,040	補助金の交付により、広報誌の発行や視察研修の実施により子ども会活性化に寄与している。また安全会費の補助により加入者負担を軽減し、大幅な加入率向上がみられた。	1,015	1,017	A	補助金交付により、団体の自主的活動の推進を目的とする。また今年度以降の保険業法改正にともなう安全会費の値上がりには、新たに基金を設けるなどの対応を促したい。	1,015	生涯学習課
4 地域人材活用事業	継続	特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、多様な教育活動や体験活動が展開されるようにした。 (3,000円×56校×4人)	1,344	1,239	特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、多様な教育活動や体験活動が展開されるようにした。 (3,000円×56校×4人)	1,344	1,350	A	特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、多様な教育活動や体験活動が展開されるようにする。 (3,000円×56校×4人)	1,344	学校管理課
5 中学生社会体験事業 (2 - (1) - 2の再掲)	継続	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、豊かな感性や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育むことができ ・参加生徒数 2,849人 ・協力事業所 803社	-	-	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育むことができた。 ・参加生徒数 2,833人 ・協力事業所 784社	-	-	A	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育む。 ・参加生徒数 2899名(予定)	-	教育指導課
6 生きがい活動支援通所事業	継続	霞ヶ関東小学校の空き教室を利用したデイサービスセンターを1クラスずつ在校生が訪れ、利用者の高齢者と交流を図った。交流内容は、歌、昔遊び(こま・おはじき)、体験談(戦争・原爆)など。	8,098	8,041	17年度に引き続き、利用者と在校生が交流した。利用者は小学生との触れ合いを喜び、小学生も体験談を真剣に聞くなど、高齢者だから持っている知識・体験に触れることができた。	8,019	8,019	A	引き続き、利用者に小学生との交流を楽しんでもらうとともに、高齢者と触れ合う機会が少なくなっている子どもたちに交流の場を提供する。	8,288	高齢者いきがい課
7 体験学習(小学生対象)	継続	子どもの自然体験や社会体験活動の振興を促す事業を実施した。 23講座 57回 参加者延べ1,146人	1,307	694	子どもの自然体験や社会体験活動の振興を促す事業を実施した。 24講座 95回 参加者延べ3,139人	3,156	2,075	A	子どもの自然体験や社会体験活動の振興を促す事業を実施する。	2,300	中央公民館
8 土曜体験教室 (2 - (2) - 14の再掲)	継続	学校週5日制において、子どもたちに豊かな体験の場を提供した。 22回 延べ1426人	-	-	学校週5日制において、子どもたちに豊かな体験の場を提供した。 21回 延べ1232人	-	-	A	学校週5日制において、子どもたちに豊かな体験の場を提供する。	-	博物館
9 子ども博物館教室 (2 - (2) - 15の再掲)	継続	子どもたちに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深めた。 3回 延べ142人	-	-	子どもたちに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深めた。 3回 延べ98人	-	-	A	子どもたちに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深める。	-	博物館

10	夏休み子ども体験 (2-(2)-16の再掲)	継続	夏季休業日を活用して、学校との連携を図り、学校教育と連動した学習や体験の場を提供した。 3回 延べ211人	-	-	夏季休業日を活用して、学校との連携を図り、学校教育と連動した学習や体験の場を提供した。 4回 延べ232人	-	-	A	夏季休業日を活用して、学校との連携を図り、学校教育と連動した学習や体験の場を提供する。	-	博物館
11	昔の遊び (2-(2)-17の再掲)	継続	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむ機会を提供した。 2回 延べ255人	-	-	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむ機会を提供した。 2回 延べ225人	-	-	A	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむ機会を提供する。	-	博物館
12	海外姉妹都市交流事業	継続	市内中学校生徒を海外姉妹都市オッフェンバッハ市へ派遣した。 派遣人数 引率4名・中学校生徒22名	3,500	2,990	市内中学校生徒を海外姉妹都市セーレム市へ派遣した。 派遣人数 引率4名・中学校生徒22名	3,500	2,890	A	市内中学校生徒を海外姉妹都市オッフェンバッハ市へ派遣する。 予定人数 引率4名・中学校生徒22名	3,301	国際交流課

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

5-(5) 地域における子育て支援のネットワークづくり

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1 つどいの広場 (3-(2)-1の再掲)	新規	7月から川越福祉センター、南古谷第二保育園、笠幡菜の花保育園(法人園)の3箇所で開催した。 【3箇所】	-	-	6月から新たに高階保育園、神明町保育園で事業を開始した。 【5箇所】	-	-	B	既に実施している川越福祉センターを午後も実施した。 本年度2箇所開設する予定 【10箇所】	-	保育課
2 地域子育て支援センター事業 (5-(1)-5の再掲)	拡充	電話相談(毎週月・水・金曜日) 育児相談(毎週月・水曜日) 子育て情報紙「わくわく」の発行 月1回 子育て講座(公民館と共催) 保育ボランティアの養成 サークル支援・育成、その他の支援(講習会等)・子育て情報紙の発行 【3箇所】	-	-	電話相談(毎週月・水・金曜日) 育児相談(毎週月・水曜日) 子育て講座(公民館と共催) 子育てボランティアの育成支援 サークル支援・育成、その他の支援(講習会等) 【6箇所】	-	-	B	19年度より支援室の利用時間を延ばして実施する。 今成支援室(9:15-12:00 14:45-16:30)月～金 名細支援室(9:30-12:00 13:00-16:30)月～金 【5箇所】	-	保育課
3 保育所による地域子育て支援事業 (5-(1)-6の再掲)	拡充	支援センター... 下田保育園、パンピ保育園、風の子保育園、今成支援室、名細支援室 つどいの広場... 笠幡菜の花保育園、南古谷第二保育園 川越福祉センター 【28箇所】	-	-	支援センター... 今成支援室、名細支援室、下田保育園、むさしの保育園、増美保育、パンピ保育園、風の子保育園 つどいの広場... 笠幡菜の花保育園、南古谷第二保育園、神明町保育園、高階保育園 川越福祉センター 【30箇所】	-	-	B	支援センター... 今成支援室、名細支援室、下田保育園、むさしの保育園、増美保育、パンピ保育園、風の子保育園 つどいの広場... 笠幡菜の花保育園、南古谷第二保育園、神明町保育園、高階保育園 川越福祉センター 【34箇所】	-	保育課
4 子育てサークルへの出前講座	拡充	地域で活動している「子育てサークル」に出向き、一緒に遊んだり、子育てについて話し合いする等、子育てが楽しくなるようにサポートをした。また、新しくサークルを作りたいお母さん方の相談に応じた(年33回実施)	-	-	子育て講座 (公民館と共催)5回コース8回 (公民館主催講座) 8回 サークル支援 72回 その他の支援、 研修、講習会等 6回 保育ボランティアの育成支援	-	-	A	子育て講座 43回(予定) サークル支援 30回(予定) その他の支援(研修、講習会等) 未定	-	保育課
	拡充	保健センター、市内公民館等で活動する、子育てサークル等からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容での講義、実習等を実施した。 ・実施回数 13回 参加者延べ466人	-	-	保健センター、市内公民館等で活動する、子育てサークル等からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容での講義、実習等を実施した。 ・実施回数 13回 参加者延べ382人	-	-	A	保健センター、市内公民館等で活動する、子育てサークル等からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容での講義、実習等が実施できた。 今後も、講座開催の機会が増やしていけるよう、公民館等関係機関と連携を図るとともに、子育てサークル等にも周知していく。	-	総合保健センター

5	子育てサークルへの施設提供	新規	子育てサークルへの活動の場の提供を行った。	0	0	子育てサークルへの活動の場の提供を行った。	0	0	A	子育てサークルへの活動の場の提供を行う。	0	中央公民館
6	子育てサロン事業	拡充	公民館を会場に子育ての悩みや情報を分かち合うサロンを開催した。 19講座 240回 参加者延べ9,155人	1,530	1,490	公民館を会場に子育ての悩みや情報を分かち合うサロンを開催した。 19講座 261回 参加者延べ10,721人	2,101	2,041	A	公民館を会場に子育ての悩みや情報を分かち合うサロンを開催する。	2,254	中央公民館
7	子育てサポーター養成講座	継続	子育てを支援する地域のサポーターを養成した。 2講座 10回 参加者延べ192人	125	175	子育てを支援する地域のサポーターを養成した。 1講座 6回 参加者延べ52人	80	96	B	子育てを支援する地域のサポーターを養成する。	80	中央公民館
8	子育てネットワーク事業	新規	未実施	0	0	未実施	0	0	D	実施に向けて、他市の状況を調査する。	0	子育て支援課

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

5 - (6) 子育て情報提供の充実

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1 育児情報発信活動	拡充	川越子育てネットワークが作成した、「子育てガイドマップ」などに情報提供及び作成協力をした。	42	53	川越子育てネットワークが作成した、「子育てガイドマップ」などに情報提供及び作成協力をした。	45	61	A	川越子育てネットワークが作成した、「子育てガイドマップ」などに情報提供及び作成協力などの支援を実施した。今後も積極的に情報提供・作成協力を行う。	0	総合保健センター
	拡充	子育て情報紙「子育てわくわく」毎月1回発行(発行部数1,100部) 配布先 公的機関・子育てサークル・その他 子育てリーフレット「利用のしおり」	-	-	子育て情報紙「子育てわくわく」、子育てリーフレット、各支援室の利用のしおり 案内「お気軽にお越し下さい」 すこやか保育等	-	-	B	平成17・18年度と同様手遊びやわらべうた等参加者に配布 冊子利用案内～絵本、食事、遊び、ミニ冊子、しおり等 「子育てハンドブック」(表題未定)11月予 「離乳&子育て初めてガイド」	-	保育課
2 育児サークル支援	拡充	保健センター、市内公民館等で活動する、子育てサークル等からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容での講義、実習等を実施した。 ・実施回数 13回 参加者延べ466人	-	-	保健センター、市内公民館等で活動する、子育てサークル等からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容での講義、実習等を実施した。 ・実施回数 13回 参加者延べ382人	-	-	A	講座実施の機会が増やしていけるよう、公民館等関係機関と連携を図るとともに、子育てサークル等にも周知していく。	-	総合保健センター
	拡充	サークル支援 年間53回 (大人747、子ども935人参加) 内容 手遊び、ふれあい遊び、わらべうた、集団遊び、ペープサート、人形劇、パネルシアター、制作、エプロンシアター、大型絵本等	-	-	サークル支援 内容 手遊び、ふれあい遊び、わらべうた、集団遊び、ペープサート、人形劇、パネルシアター、制作、エプロンシアター、大型絵本等	-	-	A	絵本の貸し出し、教材の貸し出し等広げる。 又、手づくりおもちゃを紹介し伝える。	-	保育課

(6)基本目標6 要支援児童へのきめ細かな取組の推進

6-(1) 児童虐待防止対策の充実

(網掛) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度末 の進捗状況	平成19年度取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課		
		予算額	決算額	予算額	決算額						
1 育児家庭支援事業		乳幼児健診未受診者を把握し、電話確認と家庭訪問等を実施した。 ・家庭訪問件数 57件 ・電話確認件数 650件	525	917	乳幼児健診未受診者を把握し、電話確認と家庭訪問等を実施した。 ・家庭訪問件数 101件 ・電話確認件数 1341件	1,176	1,155	A	育児支援が必要な家庭の把握及び育児支援に努めるとともに、関係部署の協力体制を確立していく。	1,260	総合保健センター
	拡充	国の「育児支援家庭訪問事業」の趣旨を踏まえて、健診未受診者を含む要保護児童に対する対応を検討するため、庁内関係課による処遇方針検討会議を設置した。 ・受理ケース 132件 ・検討ケース 32件	0	0	処遇方針検討会議において、健診未受診者を含む要保護児童について検討を行った。 ・受理ケース 145件 ・検討ケース 74件	0	0	C	引き続き処遇方針検討会議を継続的に開催するとともに、具体的支援方法について、関係課と協議していく。	0	子育て支援課
2 家庭児童相談 (5-(1)-9の再掲)	拡充	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。また、子育て講演会を実施した。 ・保育所入園相談、審査及び事後フォロー34回 延べ258人	-	-	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。また、子育て講演会を実施した。 ・保育所入園相談、審査及び事後フォロー33回 延べ231人	-	-	A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じる。 ・保育所入園相談、審査及び事後フォロー	-	子育て支援課
3 児童虐待防止ネットワーク会議	拡充	川越市児童虐待防止ネットワーク会議において、関係機関の連携強化を図り、虐待の予防・早期発見及び被虐待児の迅速かつ適切な保護等虐待防止対策を講じる。 また、要保護児童対策地域協議会への ・代表者会議 2回開催 ・実務者会議 4回開催	274	152	要保護児童対策地域協議会へ移行済	-	-	A	要保護児童対策地域協議会へ移行済	-	子育て支援課
	要保護児童対策地域協議会 (児童虐待防止ネットワーク会議)	平成17年12月1日、川越市要保護児童対策地域協議会設置 ・代表者会議 1回開催 ・実務者会議 2回開催	-	-	要保護児童の早期発見や、適切な保護を図るため、当協議会において関係機関や関係者が情報や考え方を共有し、適切な連携の下で、要保護児童支援を行うため、協議をした。 ・代表者会議 2回開催 ・実務者会議 6回開催	370	255		要保護児童の早期発見や、適切な保護を図るため、当協議会において関係機関や関係者が情報や考え方を共有し、適切な連携の下で、要保護児童支援を行うため、協議をしていく。また、法務局等新たな関係機関の参加についても検討していく。	347	
4 ふれあい親子支援事業	継続	コアラの会(育児不安の強い保護者の会)の支援。 ・実施回数 12回 ・延参加人数 66組	361	269	コアラの会(育児不安の強い保護者の会)の支援。 ・実施回数 12回 ・延参加人数 64組	355		A	育児不安の強い保護者を一層支援し、育児機能の修復を図っていく。	355	総合保健センター
5 保健師による訪問指導	継続	保健師が育児困難等支援が必要な家庭を訪問し、関係機関と連携しながら個別的な関わりを持ち、虐待の発生を防止した。 ・妊婦 8件 ・新生児 15件 ・乳児 68件 ・産婦 113件 ・未熟児 33件 ・幼児 74件	0	0	保健師が育児困難等支援が必要な家庭を訪問し、関係機関と連携しながら個別的な関わりを持ち、虐待の発生を防止した。 ・妊婦 8件 ・新生児 15件 ・乳児 68件 ・産婦 113件 ・未熟児 33件 ・幼児 74件	0	0	A	関係機関との連携の強化を図り、子育て不安の解消や虐待予防を推進していく。	0	総合保健センター

6 - (2) ひとり親家庭等の自立支援の推進 (網掛) 重点施策 (進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了 (単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1 母子家庭相談	継続	母子自立支援員が、母子家庭等の様々な悩みや社会生活全般についての相談に応じた。 相談件数4572件	6,956	6,950	母子自立支援員が、母子家庭等の様々な悩みや社会生活全般についての相談に応じた。 相談件数5816件	6,908	6,907	A	母子自立支援員が、母子家庭等の様々な悩みや社会生活全般についての相談に応じる。	6,918	子育て支援課
2 母子家庭等日常生活事業	継続	母子家庭等の親又は児童が日常生活に一時的な支障が生じた場合、支援員を派遣して必要な支援をした。 派遣世帯2	99	99	母子家庭等の親又は児童が日常生活に一時的な支障が生じた場合、支援員を派遣して必要な支援をした。 派遣世帯1	152	81	A	母子家庭等の親又は児童が日常生活に一時的な支障が生じた場合、支援員を派遣して必要な支援をする。	218	子育て支援課
3 高等技能訓練促進費支給事業	継続	母子家庭の母の生活の安定を図るため、2年以上の養成機関で就業する場合、訓練促進費を支払った。 支給人数4人	5,360	4,532	母子家庭の母の生活の安定を図るため、2年以上の養成機関で就業する場合、訓練促進費を支払った。 支給人数4人	4,888	4,532	A	母子家庭の母の生活の安定を図るため、2年以上の養成機関で就業する場合、訓練促進費を支払う。	7,416	子育て支援課
4 母子寡婦福祉資金	継続	母子家庭の母及び寡婦の経済的自立の助成・生活意欲の助成を図り、併せてこれらの児童等の福祉を増進する為、必要な資金(新規65件30,578千円、継続59件29,664千円)の貸付を行った。 また償還期間の到来した資金の償還も併せて行った(償還率79.8%(母子)・81.1%(寡婦))。	96,450	60,638	母子家庭の母及び寡婦の経済的自立の助成・生活意欲の助成を図り、併せてこれらの児童等の福祉を増進する為、必要な資金(新規48件25,139千円、継続64件30,942千円)の貸付を行った。 また償還期間の到来した資金の償還も併せて行った(償還率81.9%(母子)・83.5%(寡婦))。	87,200	56,609	A	母子家庭の母及び寡婦のよりいっそうの自立の助成・児童等の福祉増進の為、必要な資金を必要な方に貸付を行っていく。 また長期滞納解消と償還率の向上を目指すため、母子自立支援員とともにケースにあわせた対応を促進していく。	71,000	子育て支援課
5 児童扶養手当	継続	父親がいない又は父親が重度の心身障害を持つ家庭で、18歳になる年の年度末までの児童を養育している者に手当を支給した。	870,091	865,051	父親がいない又は父親が重度の心身障害を持つ家庭で、18歳になる年の年度末までの児童を養育している者に手当を支給した。	910,000	904,753	A	父親がいない又は父親が重度の心身障害を持つ家庭で、18歳になる年の年度末までの児童を養育している者に手当を支給する。	960,000	子育て支援課
6 川越市遺児手当	継続	父母のいない(父母が児童と別居し、扶養していない場合も含む)義務教育終了前の児童の保護者に手当を支給した。	1,326	1,190	父母のいない(父母が児童と別居し、扶養していない場合も含む)義務教育終了前の児童の保護者に手当を支給した。	1,428	1,292	A	父母のいない(父母が児童と別居し、扶養していない場合も含む)義務教育終了前の児童の保護者に手当を支給する。	1,428	子育て支援課
7 母子自立支援施設すみれ館	継続	母子家庭又はそれに準ずる事情にある家庭で、その看護すべき児童の福祉に欠けるところがある場合、母子共に入所させ、保護・指導を行うと共に自立を支援した。	3,016	2,526	母子家庭又はそれに準ずる事情にある家庭で、その看護すべき児童の福祉に欠けるところがある場合、母子共に入所させ、保護・指導を行うと共に自立を支援した。	3,151	2,273	A	母子家庭又はそれに準ずる事情にある家庭で、その看護すべき児童の福祉に欠けるところがある場合、母子共に入所させ、保護・指導を行うと共に自立を支援する。	3,712	子育て支援課
8 ひとり親家庭等医療費の助成	継続	ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図るためにひとり親家庭等に医療費の一部を支給した。 支給件数 15,828件 支給額 42,811千円	54,446	44,239	ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図るためにひとり親家庭等に医療費の一部を支給した。 支給件数 19,162件 支給額 49,785千円	61,938	51,085	A	ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図るためにひとり親家庭等に医療費の一部を支給する。 支給予定件数 20,838件 支給予定額 52,000千円	53,891	医療助成課

6 - (3) 障害児施策の充実 (網掛) 重点施策 (進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了 (単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1 生活サポート事業	継続	在宅の障害児が、市に登録する民間団体の実施するサービスを利用する際、自己負担となる1/3の利用料に対し、所得に応じた補助を行った。	4,200	4,325	在宅の障害児が、市に登録する民間団体の実施するサービスを利用する際、自己負担となる1/3の利用料に対し、所得に応じた補助を行った。	4,800	4,467	A	在宅の障害児が、一時預かり等のサービスを身近な地域で利用することができるようになるとともに、利用料の補助を行い負担のより一層の軽減を図る。	5,000	障害者福祉課

2	緊急一時保護事業	継続	保護者または家族の冠婚葬祭等により、緊急に保護が必要となった障害児の一時保護を行った。 ・保護件数・220件 ・利用人数・52名	-	-	保護者または家族の冠婚葬祭等により、緊急に保護が必要となった障害児の一時保護を行った。 ・保護件数・210件 ・利用人数・43名	-	-	A	保護者または家族の冠婚葬祭等により、緊急に保護が必要となった障害児の一時保護を行い、地域生活を支援する。	-	障害者福祉課
3	障害児への補装具等の交付	継続	障害児の身体の障害を補い、日常生活の向上を図るため、補装具の交付、修理を行った。 ・交付・789件、38,623,000円 ・修理・137件、3,083,157円	45,842	41,706	障害児の身体の障害を補い、日常生活の向上を図るため、補装具の交付、修理を行った。 ・交付・572件、37,106,706円 ・修理・128件、3,280,546円	48,989	40,387	A	障害児の身体機能を補完する装具等の費用を支給し、日常生活の向上を図る。	33,535	障害者福祉課
4	障害児への各種手当の支給	継続	在宅の障害児に、特別児童扶養手当を支給することにより、経済的及び精神的負担の軽減を図った。(支給要件あり)	133	133	在宅の障害児に、特別児童扶養手当を支給することにより、経済的及び精神的負担の軽減を図った。(支給要件あり)	224	92	A	在宅の障害児に、特別児童扶養手当を支給することにより、経済的及び精神的負担の軽減を図る。(支給要件あり)	82	子育て支援課
			重度障害児のべ1,587人に対し月額14,430円手当の支給を行った。	25,974	22,900	重度障害児のべ1,509人に対し手当の支給を行った。 ・1,255人×14,380 ・254人×14,430	25,974	21,712	A	在宅の重度障害児に対し、手当を支給することにより、経済的及び精神的負担の軽減を図る。	25,884	障害者福祉課
5	障害児者地域療育等支援事業	継続	在宅の障害児に対し、訪問又は外来により療育の指導・相談等を行い、サービス利用の援助を行った。	10,831	10,831	在宅の障害児に対し、訪問又は外来により療育の指導・相談等を行い、サービス利用の援助を行った。	10,831	5,416	E	事業廃止	-	障害者福祉課
6	障害者総合相談会	継続	身体・知的・精神障害の専門の相談員が、合同で様々な問題をもつ障害者の相談に応じる相談会を実施。その中で障害児からの相談はなかった。	0	0	身体・知的・精神障害の専門の相談員が、合同で様々な問題をもつ障害者の相談に応じる相談会を実施。その中で障害児からの相談はなかった。	0	0	B	平成19年7月より、これまでの3障害に加え、発達障害者専門の相談員を配置し相談に応じる。(月1回午前のみ)	150	障害者福祉課
7	紙おむつ給付事業	継続	在宅で常時失禁状態等にある障害児125人に対し、月額5,000円の範囲で紙オムツを自宅に配送するサービスを行った。	6,000	6,160	在宅で常時失禁状態等にある障害児185人に対し、月額5,000円の範囲で紙オムツを自宅に配送するサービスを行った。	6,000	7,103	A	在宅で常時失禁状態等にある障害児に対し、月額5,000円の範囲で紙おむつを自宅に配送するサービスを実施し、日常生活の負担軽減を図る。	6,000	障害者福祉課
8	統合保育事業 (5-(2)-3の再掲)	拡充	保育所において障害児保育を実施。 平成17年4月時:63人	-	-	保育所において障害児保育を実施。 平成18年4月時:75人	-	-	A	保育所において障害児保育を実施。 平成19年4月時:77人	-	保育課
9	グループ指導会	継続	家庭児童相談員が主に発達につまづきのある3歳児を対象に、将来の集団参加に備えて、小グループにおいてプレイセラピーを中心とした発達支援を行った。 32回 延べ453人	0	0	家庭児童相談員が主に発達につまづきのある3歳児を対象に、将来の集団参加に備えて、小グループにおいてプレイセラピーを中心とした発達支援を行った。 32回 延べ386人	0	0	A	家庭児童相談員が主に発達につまづきのある3歳児を対象に、将来の集団参加に備えて、小グループにおいてプレイセラピーを中心とした発達支援を行う。	0	子育て支援課
10	家庭児童相談	継続	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。また、子育て講演会を実施した。 ・保育所入園相談、審査及び事後フォロー 34回 延べ258人 ・就学支援委員会 7回参加			子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。また、子育て講演会を実施した。 ・保育所入園相談、審査及び事後フォロー 33回 延べ231人 ・就学支援委員会 9回参加			A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じる。 ・保育所入園相談審査及び事後フォロー ・就学支援委員会		子育て支援課

11	障害のある子どもに対する教職員研修事業	継続	障害のある児童生徒の理解と、校内支援体制の整備に向け、研修を実施した。特別支援教育コーディネーター養成研修...4回 LD・ADHD等指導法研修会...3回 特別支援教育指導員研修会...1回	125	73	障害のある児童生徒の理解の推進と、校内支援体制の整備に向け、研修を実施した。特別支援教育コーディネーター養成研修...4回 就学相談担当者研修会...1回 LD・ADHD等指導法研修会...3回 特別支援教育指導員研修会...1回	125	39	A	障害のある児童生徒の理解の推進と、校内支援体制の充実に向けて、研修を実施する。特別支援教育コーディネーター養成研修...4回 就学相談担当者研修会...1回 LD・ADHD等指導法研修会...3回 特別支援教育指導員研修会...1回	125	教育研究所
12	肢体不自由児認可通園施設	新規	・部内プロジェクト開催(3回) ・県立川島ひばりヶ丘養護学校視察 ・川口市立心身障害者福祉センター視察	0	0	・4月1日障害者自立支援法施行による介護給付費の児童デイサービス開始	0	0	A	・部内プロジェクト報告書の作成 ・調査研究	0	保育課
13	障害のある子どもに対するサポート事業	継続	通常の学級に在籍するLD・ADHD等の障害のある児童生徒を支援するために、自立支援サポーター10人を年間125日派遣した。 1学期 小学校16校、中学校3校 2学期 小学校18校、中学校3校 3学期 小学校18校、中学校3校	6,000	6,048	通常の学級に在籍するLD・ADHD等の障害のある児童生徒を支援するために、自立支援サポーター11人を年間125日派遣した。 1学期 小学校19校、中学校3校 2学期 小学校23校、中学校4校 3学期 小学校24校、中学校5校	6,720	6,796	A	通常の学級に在籍するLD・ADHD等の障害のある児童生徒を支援するために、自立支援サポーター14人を年間100日派遣する。 1学期 小学校24校、中学校4校	6,720	教育研究所
14	特別支援教育	継続	障害のある児童生徒への教育の充実を図るため、介助等を必要とする児童生徒が在籍する市立小・中・養護学校に、特別支援教育臨時指導員を配置した。 特別支援学級小学校...30名 同中学校...15名 市立養護学校...3名 通常学級に在籍する車椅子等の児童生徒...13名	76,500	73,831	障害のある児童生徒への教育の充実を図るため、介助等を必要とする児童生徒が在籍する市立小・中・養護学校に、特別支援教育臨時指導員を配置した。 特別支援学級小学校...29名 同中学校...14名 市立養護学校...3名 通常学級に在籍する車椅子等の児童生徒...14名	76,500	72,642	A	障害のある児童生徒への教育の充実を図るため、介助等を必要とする児童生徒が在籍する市立小・中・養護学校に、特別支援教育臨時指導員を配置する。 特別支援学級小学校...29名 同中学校...14名 市立養護学校...3名 通常学級に在籍する車椅子等の児童生徒...14名	75,735	教育研究所
15	ダウン症児を持つ親の会 (1-(1)-26の再掲)	継続	いもっこの会の開催 ・実施回数 11回 ・延参加人数 166組	-	-	いもっこの会の開催 ・実施回数 11回 ・延参加人数 113組	-	-	A	いもっこの会の開催により、ダウン症児の保護者に対し、情報交換や講演会を通じ、互いに助け合える支援の場を提供できた。今後も継続して実施していく。	-	総合保健センター
16	すくすくクリニック (1-(1)-28の再掲)	継続	未熟児及び健診等で発育・発達に遅れがみられる概ね1歳までの子供を対象に診察・相談を実施した。 ・実施回数 12回 ・受診者数 65人	-	-	未熟児及び健診等で発育・発達に遅れがみられる概ね1歳までの子供を対象に診察・相談を実施した。 ・実施回数 12回 ・受診者数 67人	-	-	A	未熟児及び発育・発達に遅れがみられる概ね1歳までの子どもを対象に、診察・相談を実施することにより、成長・発達を正しく評価し、健やかな育成と育児についての支援ができた。今後は、相談体制を充実させ、更に受診しやすい制度にしていく。	-	総合保健センター
17	発育・発達クリニック (1-(1)-29の再掲)	拡充	乳幼児健診断、相談等で成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に、診察・発達テスト・相談を実施した。 ・実施回数 12回 ・受診者数 92人	-	-	乳幼児健診断、相談等で成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に、診察・発達テスト・相談を実施した。 ・実施回数 12回 ・受診者数 80人	-	-	A	成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児等を対象に、診察・相談・発達テストを実施することにより、成長・発達を正しく評価し、健やかな育成と育児についての支援ができた。今後は、相談体制を充実させ、更に受診しやすい制度にしていく。	-	総合保健センター
18	こどもの心の健康相談 (1-(1)-30の再掲)	拡充	乳幼児健診断、相談等で成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に、診察・発達テスト・相談を実施した。 ・実施回数 12回 ・受診者数 54人	-	-	乳幼児健診断、相談等で成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に、診察・発達テスト・相談を実施した。 ・実施回数 12回 ・受診者数 66人	-	-	A	心の健康に心配がある乳幼児等を対象に、診察・相談・発達テストを実施することにより、成長・発達を正しく評価し、健やかな育成と育児についての支援ができた。今後は、相談体制を充実させ、更に受診しやすい制度にしていく。	-	総合保健センター

19	身体障害児育成医療給付 (1 - (4) - 4の再掲)	継続	健全育成・福祉向上を図るため、身体に障害のある児童に対して、必要な医療の給付を行った。 ・受給者数 102人	-	-	健全育成・福祉向上を図るため、身体に障害のある児童に対して、必要な医療の給付を行った。 ・受給者数 135人	-	-	A	健全育成・福祉向上を図るため、身体に障害のある児童に対して、必要な医療の給付を行った。今後も国の基準を遵守していくとともに、制度の内容を周知していく。	-	総合保健センター
20	小児慢性特定疾患医療給付 (1 - (4) - 6の再掲)	継続	小児の慢性疾患のうち、国が指定した特定疾患について、必要な医療給付を行った。 ・受給者数 233人	-	-	小児の慢性疾患のうち、国が指定した特定疾患について、必要な医療給付を行った。 ・受給者数 251人	-	-	A	小児の慢性疾患のうち、国が指定した特定疾患について、必要な医療給付を行った。今後も国の基準を遵守していくとともに、制度の内容を周知していく。	-	総合保健センター

(7)基本目標7 子ども等にやさしく、安全・安心なまちづくりの推進

(網掛け) 重点施策

7-(1) 良質な住宅・良好な居住環境の確保

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1 特定優良賃貸住宅	継続	窓口において、パンフレットを配布。 問合せ等に対する周知	0	0	窓口において、パンフレットを配布。 問合せ等に対する周知	0	0	D	中堅所得層のファミリー世帯向けに、居住環境等の良好な賃貸住宅を供給するため、一定の所得者に家賃補助を行う特定優良賃貸住宅の供給を促進する。	0	住宅課
2 公営住宅における優先入居	継続	平成17年度入居者数4名、辞退者2名 平成18年度入居登録予定者数5名	0	0	平成18年度入居者数2名、辞退者1名 期限切者数2名 平成18年度入居登録予定者数8名	0	0	A	市営住宅入居に際し、18歳未満の児童が3人以上いる世帯(多子世帯)等、特に居住の安定を図る必要のある世帯に対する優先的な取り扱いを実施する。	0	住宅課
3 シックハウス対策	継続	建築確認申請が提出されると、建築基準法に適合しているか審査する。	0	0	建築確認申請が提出されると、建築基準法に適合しているか審査する。	0	0	A	建築確認申請が提出されると、建築基準法に適合しているか審査する。	0	建築指導課

7-(2) 安全な道路交通環境の整備

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1 歩行空間のバリアフリー化	継続	該当なし			都市計画道路・寺町通り線を234m整備した。	107,000	106,505 (50993)	A	都市計画道路・寺町通り線を193m整備する。	17,740	街路課
2 屋外広告物の撤去	継続	はり紙 4,227枚 はり札 18,822枚 立看板 2,817個 合計 25,866	12,047	1,456	はり紙 3,265枚 はり札 12,481枚 立看板 1,356個 合計 17,102	4,441	2,521	A	違反広告物の掲出数そのものが減少傾向にあり、市民ボランティアの方々による地元からの除却活動の成果が表れており、19年度も引き続き事業を推進する。	7,834	都市景観課
3 生活道路における安全対策	継続	路面標示等による事故防止対策	3~6の合計 80,932	74,879	路面標示等による事故防止対策	3~6の合計 60,888	60,713	A	路面標示等による事故防止対策	3~6の合計 62,971	安全安心生活課
4 カーブミラーの整備	継続	カーブミラーの新設、補修	上記のとおり		カーブミラーの新設、補修	上記のとおり		A	カーブミラーの新設、補修	上記のとおり	安全安心生活課
5 交通安全看板	継続	新設 77基 修繕 203基 警戒標識、注意看板の設置	上記のとおり		新設 79基 修繕 256基 警戒標識、注意看板の設置	上記のとおり		A	警戒標識、注意看板の設置	上記のとおり	安全安心生活課
6 道路照明灯	継続	50基 道路照明灯の新設	上記のとおり		50基 道路照明灯の新設	上記のとおり		A	道路照明灯の新設	上記のとおり	安全安心生活課
7 信号機	継続	5基 信号機等交通規制に関することは、所管が埼玉県公安委員会となるので、窓口である川越警察署に要望した。	0	0	3基 信号機等交通規制に関することは、所管が埼玉県公安委員会となるので、窓口である川越警察署に要望した。	0	0	A	信号機等交通規制に関することは、所管が埼玉県公安委員会となるので、窓口である川越警察署に要望する。	0	安全安心生活課

8	市内循環バス(川越シャトル)	継続	市内の主要な公共施設及び駅周辺等への交通手段として市内循環バス(川越シャトル)を運行する。 新路線に向けての検討を行った。	202,870	175,791	平成18年12月から鉄道駅を中心として住宅地や公共施設を結ぶ新路線の運行を開始した。また、受益者負担の観点から料金体系の見直しも行った。	208,368	191,465	A	鉄道駅を中心とした住宅地や公共施設への交通手段として市内循環バス(川越シャトル)を運行する。	187,832	都市交通政策課
---	----------------	----	--	---------	---------	--	---------	---------	---	--	---------	---------

(網掛け) 重点施策

7 - (3) 安全・安心なまちづくり

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

	事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1	ユニバーサルデザインによる都市公園等の整備	継続	「上郷公園ほか1公園健康施設整備工事」において、健康遊具を設置。	1,728	1,575	「御伊勢塚公園健康遊具設置工事」において、健康遊具を設置。	1,500	1,365	A	公園内に健康遊具(介護予防遊具)を順次設置し、既存の公園の有効利用と市民の健康づくりを推進する。	1,425	公園整備課
2	旅客施設、車両等のバリアフリー化	継続	JR川越線南古谷駅にバリアフリー施設整備事業を行った。 ノンステップバスの導入に対して補助を行った。(6台)	58,371	42,279	ノンステップバスの導入に対して補助を行った。(6台)	6,350	5,748	A	東武東上線新河岸駅、西武新宿線南大塚駅のバリアフリー施設整備を行う予定。 ノンステップバスの導入に対して補助を行う予定。(5台)	126,950	都市交通政策課
3	バリアフリー法(H18.6.21公布H18.12.20施行) (ハートビル法に基づく所要の措置)	継続	高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の促進に関する法律に基づき、届出がされたものを、認定する。	0	0	建築基準法第6条第1項に基づく審査及び、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づき、届出がされたものを、認定する。(施行H18.12.20)	0	0	A	建築基準法第6条第1項に基づく審査及び、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づき、届出がされたものを、認定する。	0	建築指導課
4	公共施設等のバリアフリー化	拡充	都市計画道路・市内循環線の歩道を18m整備した。	1,467	1,467	都市計画道路・市内循環線の歩道を16.5m整備した。	54,000	49,959	C	都市計画道路・川越駅南大塚線の歩道を整備する。	96,000	街路課
5	本庁舎のバリアフリー化	継続	本庁舎エレベーター内の手すり、東側階段の手すり、階段の主要部分のノンスリップカバーは、平成16年度に設置済み。	0	0	本庁舎エレベーターの安全対策について検討	0	0	A	本庁舎エレベーターの改修工事を行う。 ・各機内に手すり、鏡を設置予定。 ・表示盤を車いす対応できる低い位置に設置予定。 (H20.2月完成予定)	70,000	管財課
6	本庁舎における、子育て世帯にやさしいトイレ等の整備	継続	子ども用便座・床置き式小便器・ベビーチェアは、平成16年度に設置済み。 (1,2階のみトイレ改修工事)	0	0	授乳室の場所の確保 ・2階保育課前スペースに決定	0	0	A	授乳室を設置予定 (H19.9月末完成予定)	1,000	管財課
7	公園の整備	継続	市民サービスの向上のため、公園の施設改修や新規整備等を実施。 実施公園数 34公園	149,384	149,231	市民サービスの向上のため、公園の施設改修や新規整備等を実施。 実施公園数 30公園	208,618	204,128	B	良好な避難場所の提供や、改修、補修による安全確保を行い、市民生活の向上を図る。	119,300	公園整備課
8	防犯灯の整備	継続	防犯灯の新設及び既設の整備を行った。 ・新設:235灯 ・修繕:437灯 ・防犯灯総数:19,312灯 (平成18年3月31日現在)	46,074	45,961	防犯灯の新設及び既設の整備を行った。 ・新設:216灯 ・修繕:316灯 ・防犯灯総数19,551灯 (平成19年3月31日現在)	45,999	45,997	B	防犯灯の新設及び既設の整備を行う。 ・新設:350灯 ・修繕:380灯	46,653	安全安心生活課

(網掛け) 重点施策
(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

7 - (4) 子ども等の交通安全を確保するための活動の推進 (単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1 交通安全教育	拡充	幼児・児童・母親及び高齢者に対する交通安全思想の普及を図るために実施した。 182回 22,432人	2,400	1,608	幼児・児童・母親及び高齢者に対する交通安全思想の普及を図るために実施した。 184回 20,896人	2,400	1,629	A	幼児・児童・母親及び高齢者に対する交通安全思想の普及を図るために実施する。 200回 22,000人	2,160	安全安心生活課
2 児童の登校時の交通の安全確保	継続	児童・生徒の登校時における交通安全の確保、正しい交通ルールとマナーの指導を図るために実施した。 10,295回	12,830	12,354	児童・生徒の登校時における交通安全の確保、正しい交通ルールとマナーの指導を図るために実施した。 10,535回	13,024	12,642	A	児童・生徒の登校時における交通安全の確保、正しい交通ルールとマナーの指導を図るために実施する。 10,535回	13,154	安全安心生活課
3 シートベルトの着用	継続	各交通安全運動に県からの要請で実施した。	0	0	各交通安全運動に県からの要請で実施した。	0	0	A	各交通安全運動に県からの要請で実施する。	0	安全安心生活課
4 交通安全推進団体への補助	継続	交通安全推進協議会 交通安全母の会 交通安全協会 交通指導員会	1,440 1,000 500 50	1,440 1,000 500 50	交通安全推進協議会 交通安全母の会 交通安全協会 交通指導員会	1,440 1,000 500 50	1,440 1,000 500 50	A	交通安全推進協議会 交通安全母の会 交通安全協会 交通指導員会	1,440 1,000 500 50	安全安心生活課
5 交通安全運動	継続	・春の全国交通安全運動 ・夏の交通事故防止運動 ・秋の全国交通安全運動 ・年末年始の交通事故防止運動等の実施	1,852	1,774	・春の全国交通安全運動 ・夏の交通事故防止運動 ・秋の全国交通安全運動 ・年末年始の交通事故防止運動等の実施	1,736	1,694	A	・春の全国交通安全運動 ・夏の交通事故防止運動 ・秋の全国交通安全運動 ・年末年始の交通事故防止運動等を実施予定	1,650	安全安心生活課
6 放置自転車対策	継続	子どもや障害者、高齢者等の通行の妨げである駅前の放置自転車を撤去し、また、自転車を放置しないよう啓発した。(市内11駅 撤去回数504回 撤去台数6,783台)	68,531	61,282	子どもや障害者、高齢者等の通行の妨げである駅前の放置自転車を撤去し、また、自転車を放置しないよう啓発した。(市内11駅 撤去回数515回 撤去台数5,873台)	42,041	37,116	A	子どもや障害者、高齢者等の通行の妨げである駅前の放置自転車を撤去し、また、自転車を放置しないよう啓発する。	42,455	安全安心生活課
7 チャイルドシートの使用	継続	チャイルドシート購入費補助制度の実施(補助件数 694件) チャイルドシート着用促進運動の実施	4,800 0	3,397 0	チャイルドシート購入費補助制度の実施(補助件数 810件) チャイルドシート着用促進運動の実施	3,960 0	3,957 0	A	チャイルドシート購入費補助制度及びチャイルドシート着用促進運動を実施し、チャイルドシートの普及、着用率の向上に努める。	3,600	安全安心生活課

(網掛け) 重点施策
(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

7 - (5) 子ども等を犯罪等の被害から守るための活動の推進 (単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算額	平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1 川越市防犯のまちづくり基本方針に基づく各種施策	拡充	防犯推進体制の整備、防犯意識の高揚 安全な地域コミュニティの推進に努めた。 ・ 2～11事業の展開	28,744	27,161	防犯推進体制の整備、防犯意識の高揚 安全な地域コミュニティの推進に努めた。 ・ 2～11の事業の展開	32,282	30,706	A	防犯推進体制の整備、防犯意識の高揚 安全な地域コミュニティの推進を図る。 ・ 2～11の事業の展開	12,240	安全安心生活課
2 庁内における防犯推進体制	継続	関係部署を中心に、行政における防犯推進体制の整備を図った。 ・防犯推進庁内会議の開催:2回 ・埼玉県警察本部派遣職員の配置:1名 ・防犯パトロール支援車の導入:1台	0	0	関係部署を中心に、行政における防犯推進体制の整備・充実を図った。 ・防犯推進庁内会議の開催:1回 ・埼玉県警察本部派遣職員の配置:1名 ・防犯パトロール支援車の巡回強化	0	0	A	関係部署を中心に、行政における防犯推進体制の整備・充実を図る。 ・防犯推進庁内会議の開催 ・埼玉県警察本部派遣職員の配置:1名 ・防犯パトロール支援車活動の充実	0	安全安心生活課

3	地域における防犯推進体制	継続	自治会・事業所を中心に、地域における防犯推進体制の整備・促進に努めた。 ・重点地域、強化地域の指定:5地域 ・地域安全協定の締結:2企業等	0	0	0	0	A	自治会・事業所を中心に、地域における防犯推進体制の整備・促進の強化に努めた。 ・重点地域、強化地域の指定:3地域 ・地域安全協定の締結	0	安全安心生活課
4	防犯体制	継続	埼玉県、埼玉県警察等の関係機関との連携強化を図った。 ・埼玉県防犯のまちづくり推進事業の協力 ・川越警察署との連携強化	0	0	0	0	A	埼玉県、埼玉県警察等の関係機関との連携強化に努めた。 ・県防犯のまちづくり実践事例集の発行協力 ・川越警察署との連携強化	0	安全安心生活課
5	防犯協会、暴力排除推進協議	継続	防犯関係団体との連携強化を図った。 ・川越防犯協会の運営助成 ・川越市暴力排除推進協議会事業活動の促進	0	0	0	0	A	防犯関係団体との連携強化を図った。 ・川越防犯協会の運営助成 ・川越市暴力排除推進協議会事業活動の促進	0	安全安心生活課
6	犯罪情報・防犯情報	継続	警察等関係機関と連携し、犯罪情報や防犯に関する情報の提供に努めた。 ・犯罪情報、防犯情報のチラシの配布 ・地域安全安心情報ネットワークの構築	0	0	0	0	A	様々なメディアを活用して、犯罪情報や防犯情報の積極的、効果的な提供に努める。 ・「小江戸川越防犯のまちづくり情報」メール配信サービスの導入・活用 ・効果的な広報媒体等の活用研究	0	安全安心生活課
7	防犯並びに暴力排除推進大会	継続	防犯関係団体、地域防犯推進委員及び事業所等の関係者768人が参加した。 ・防犯功労者等の表彰:37名(団体) ・活動事例発表:2団体	0	0	0	0	A	平成19年10月19日(金)、やまぶき会館において、第20回防犯並びに暴力排除推進大会を開催する。	0	安全安心生活課
8	防犯に関する普及啓発活動	継続	市民の防犯意識の高揚を図った。 ・防犯ガイドブック等の配布 ・防犯啓発用ビデオの貸し出し ・広報川越特集記事(4頁)の掲載 ・庁舎電子表示盤の活用	0	0	0	0	A	市民の防犯意識の高揚を図る。 ・防犯ガイドブック等の配布 ・防犯啓発用ビデオの貸し出し ・広報川越特集記事(4頁)の掲載 ・庁舎電子表示盤の活用	0	安全安心生活課
9	地域安全協定に基づく防犯パト	継続	協定締結事業所車両等による通常業務を通じての防犯パトロールを実施した。 ・400台の車両に「防犯パトロール実施中」と表示したマグネットシートを貼付	0	0	0	0	A	協定締結事業所車両等による通常業務を通じての防犯パトロールを実施する。 ・防犯啓発用マグネットシートの貼付	0	安全安心生活課
10	市公用車による防犯パトロール	継続	市公用車等による通常業務を通じての防犯パトロールを実施した。 ・公用車294台と公用電気自転車30台に「防犯パトロール実施中」と表示したマグネットシートを貼付	0	0	0	0	A	市公用車等による通常業務を通じての防犯パトロールを実施予定。 ・防犯啓発用マグネットシートの貼付	0	安全安心生活課
11	地域における防犯活動	継続	自治会等を中心に自主防犯活動の促進支援に努めた。 ・101団体への防犯パトロール用資機材の提供 ・普及用ビデオの配布:90本	0	0	0	0	A	自治会等を中心に自主防犯活動の促進支援に努める。 ・防犯パトロール用資機材の提供 ・防犯のまちづくり出前講座の開催	0	安全安心生活課
12	防犯実技研修会	継続	当該年度、市教委主催の防犯実技研修会は実施しなかった。	0	0	0	0	A	スク・ルガ・ド養成講習会を実施する予定。 ・参加対象者は、小・中学校生徒指導主任及び安全主任、スク・ルガ・ドとす ・内容は、講演及び不審者対応実技講習 ・講師は川越警察署職員など	0	教育指導課

13	CAPプログラム	継続	未実施	0	0	未実施	0	0	D	未実施	0	子育て支援課
14	「子ども110番の家」 (5-(3)-13の再掲)	継続	「青少年を育てる市民会議」を通じて、 子ども110番プレート作成等に補助金を 交付した。 ・青少年を育てる地区会議 10地区	-	-	「青少年を育てる市民会議」を通じて、 子ども110番プレート作成等に補助金を 交付した。 ・青少年を育てる地区会議 12地区	-	-	A	「青少年を育てる市民会議」を通じて、 子ども110番プレート作成等に補助金を 交付する。	-	青少年課

7-(6) 被害に遭った子どもの支援の推進 (網掛け) 重点施策 (進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了 (単位:千円)

事業名	目標	平成17年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成18年度末 の進捗状況	平成19年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		所管課		
		予算額	決算額	予算額	決算額		予算額	決算額			
1 犯罪被害者支援推進協議会への補助	継続	犯罪被害者支援関係団体と連携を図った。 ・川越市犯罪被害者支援推進協議会の運営助成	300	300	犯罪被害者支援関係団体と連携を図った。 ・川越市犯罪被害者支援推進協議会の運営助成	300	300	A	犯罪被害者支援関係団体と連携を図る。 ・川越市犯罪被害者支援推進協議会の運営助成	300	安全安心生活課
2 家庭児童相談 (5-(1)-9の再掲)	拡充	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。また、子育て講演会を実施した。 ・保育所入園相談、審査及び事後フォロー34回 延べ258人 ・グループ指導会の実施 32回 延べ453人 ・就学支援委員会 7回出席 ・子育て講演会 1回 79名参加	-	-	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。また、子育て講演会を実施した。 ・保育所入園相談、審査及び事後フォロー33回 延べ231人 ・グループ指導会の実施 32回 延べ386人 ・就学支援委員会 9回出席 ・子育て講演会 1回 86名参加	-	-	A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じる。 ・保育所入園相談、審査及び事後フォロー ・グループ指導会の実施 ・就学支援委員会 ・子育て講演会	-	子育て支援課
3 児童虐待防止ネットワーク会議 (6-(1)-3の再掲)	拡充	川越市児童虐待防止ネットワーク会議において、関係機関の連携強化を図り、虐待の予防・早期発見及び被虐待児の迅速かつ適切な保護等虐待防止対策を講じる。また、要保護児童対策地域協議会への移行を行った。	-	-	要保護児童対策地域協議会へ移行	-	-	A	要保護児童対策地域協議会	-	子育て支援課
要保護児童対策地域協議会 (児童虐待防止ネットワーク会議) (6-(1)-3の再掲)	継続	-	-	-	要保護児童の早期発見や、適切な保護を図るため、当協議会において関係機関や関係者が情報や考え方を共有し、適切な連携の下で、要保護児童支援を行うため協議をした。	-	-	-	要保護児童の早期発見や、適切な保護を図るため、当協議会において関係機関や関係者が情報や考え方を共有し、適切な連携の下で、要保護児童支援を行うため、協議をしていく。また、法務局等新たな関係機関の参加についても検討していく。	-	子育て支援課